

泰安縣	鎰東縣	泰安縣
泰安縣城	鎰東	泰安縣
協和隆	同興昌	三興源
福和隆	義興昌	東昌源
義興隆	同興昌	三興源
同興隆	義興昌	東昌源
東昌隆	同興昌	三興源
三興隆	義興昌	東昌源
滿	滿	滿
綢緞布業	雜貨	燒油五藥 鍋坊金業
張際唐	高雲青	明秀彬
王國棟	范雨亭	楊桂遠
雲瑞臣	王泉正	張化星
孫碩國	傅泉正	劉星環
周國介	正齋	程作周
李國卿	齋	姜國棟
		王國棟
		田樹芬
		李鳳山
		李俊三
		何紹禹

泰安縣	泰安縣	泰安縣
泰安縣	泰安縣	泰安縣
東利興	福聚順	公和興
興利興	聚和興	福聚順
順厚長	聚和興	福聚順
恒厚長	聚和興	福聚順
滿	滿	滿
雜貨	糧業	和喫食糧菓雜 洋茶雜貨青果
宋濟川	韓華庭	趙鈞亭
王鈞亭	劉貫子	李貫子
劉貫子	劉貫子	劉貫子
洪源	呂源	楊源
楊源	楊源	楊源
崔源	張源	石源
張源	張源	張源
石源	石源	石源
齋源	陳源	侯源
陳源	陳源	陳源
侯源	侯源	侯源
劉源	劉源	劉源
幡野力	磯野力	中島正太郎
竹末正太郎	本末正太郎	長田正太郎
吉田正太郎	吉田正太郎	吉田正太郎
山田正太郎	山田正太郎	山田正太郎
高內正太郎	高內正太郎	高內正太郎

梨樹縣

東	春	德	益	德	平	福	福	信	義	協	德	天	德	聚	義	順	聚	增	公	義	金	德	巨	榮	功
生	生	春	合	慶	市	興	巨	增	和	同	士	和	昌	發	順	源	順	和	聚	華	長	發	發	成	
長	木	懋	隆	亨	店	義	成	厚	盛	興	古	店	局	合	亨	喜	達	洪	盛	盛	池	榮	榮	祥	王

木	估	藥	鞋	洋	雜	綿	雜	石	肉	材	磁	精	料	麻	棉	錢	棉	湯	雜	染	貨	家	錢
舖	衣	局	店	舖	貨	布	貨	油	商	木	鐵	穀	理	殿	花	鈔	花	屋	貨	物	雜	貨	鈔

一、二、三、六、一、二、一、一、
 〇〇〇八五〇〇〇〇〇〇〇〇
 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

王韓趙徐王崔唐慶邵樓劉辛包崔孫傅陳白劉白股劉曹孫劉李祖
 輔瑞蔭 炳慶會孟冠宜化克明興九殿西徐雲守永芳永作潤榮印
 臣春堂懷熙五川關儒臣民臣三奎榮合國氏關瑛江亭志雲齋先柏

中	公	義	利	長	天	順	吉	復	吉	桂	義	長	同	公	和	寶	天	吉	東	巧	德	人	和	景	雙
月	義	發	源	勝	德	陸					和	景	慶	記	發	慶	陸	天	慶	和	盛	興			
樓	盛	號	達	魁	堂	玉	班	順	福	寶	興	東	長	店	瑞	順	福	號	寶	順	亨	福	長	東	盛

料	鮮	染	錢	染	藥	料	雜	料	材	雜	湯	錢	飲	藥	料	雜	料	藥	錢	雜	錢	雜		
理	果	物	鈔	物	種	理	貨	理	木	貨	屋	鈔	食	種	理	貨	理	種	鈔	貨				

張王王魏張李任崔鄭劉周王胡黃韓白黃李劉孫陳張王畢王陳高
 春紹輔松興熙雅玉素維少嘉順遇聘寶富品振雲錫 炳甫秘子輔
 甫廷臣坡邦亭仙亭卿元山瑞方金卿珍華卿鐸卿三波熙山堂祥俊

ど現金にて少量の取引あるのみなり。

克山縣

日本商

昨年度に於ては三井物産、三菱商事等は出張員を派して次の如き買付を爲したり。

三井

泰安 二六二社車

克山 六六

三菱

泰安鎮 二五社車

克山 五一

乍然本年度に於ては特産物の外國に於ける需要減退其の他の經濟的事象に災され北滿特産市場未曾有の相場下落に遭ひ且思ふ儘の相場を以て大連市場にて買付し得らるゝ爲本年度に於ては大手筋の當地方に於ける活躍の消息を聞かず。

滿洲國商

本年度海外に於ける特産物需要減退に基く相場下落に遭ひたる爲當地方に於ける特産商の買付状態は極めて消極的にして特産市場は地滯を極む。

蘇聯其の他

拜泉、昂昂溪地方には出廻の初期に際しワツサルト出張員の特産事情調査に見へたる事實あるも其の後特産物相場の好材料無き爲か外國商筋の手は未だ當方面に現はれず。

取引方法

一 現物取引

混保證券取引

貨車乗

院内渡

馬車卸

二 先物取引

純然たる青田取引は滿洲國の成立後之が禁止を見たるも依然當地方に於ては夏、秋の候農民の資金に缺乏を來したる際事前以前に前渡金を受取り收穫と同時に特産物を引渡す方法幾分行はれつゝあり。

訥河縣

日本商

三井、成發東等は夫々社員を派して特産物の買付に當らしめ居りたるも本年度に於ては大連市場に於ける特産物が自己の思惑相場に依り自由に買付けられ居るを以て積極的に當地方に於て買付を爲し居らざるが如し。

昨年度買付數量

三井 一二二社車

成發東 一五

滿洲國商

本年度は海外に於ける大豆需要の激減の爲大豆相場の未曾有の暴落を來せるを以て特産市場は不振、沈滯の極に達し從て各糧棧、油房業者も其の買付消極的なるに因り特産商の活躍に何等見るべきもの無し。

取引事情

普通取引方法として

- 一 現物取引
- 混保證券取引
- 貨車乗
- 院内渡
- 馬車卸

二 先物取引

純然たる青田取引は弊害有りとの見地より之が取引は滿洲國の禁止せる所と成りたるも事實上に於て小農民は夏、秋の候資金の必要に迫られ糧棧、油房業者より收穫期に於ける特産物を賣却するとの條件の下に資金の融通を受くる慣習が行はれつゝあり。

齊齊哈爾

一 日本商

一九一八年頃の歐米に於ける豆油、日本内地に於ける豆粕の需要旺盛を極めたる當時に在りては三井、三菱其の他大手筋或は一般特産商は盛に奥地に入込み買付を爲したるものなるが其の後東北軍閥の手に成る官商筋の活躍時代に入ると大手筋或一般特産商は之に競争し得ず敗退するに至れり。

從て當地方面に於ける邦人特産商は一、二の者を除く外其の存在さへも見ず。

他方三井、三菱、瓜谷其の他巨大の資力を有する特産商は官商並之が中間商業機關の解消の結果對外的需要の減退を起因として生じたる相場下落を利用し大連市場に於て盛に値を拍き落し相當巨利を得るに至れり。

之が爲諸費用を掛け奥地に出向く必要を生せざるに至つた爲沿線地方に於ける買付は皆無となりたり。

二 蘇 聯

自國の輸出貿易機關たる「エクスポートグループ」に吸收、北鐵西部線方面に於て買付を大々的に開始せるとの報ありたるも當地方迄も其の買付の手を延すに至らざりき。

三 其の他

ワツサルト

一度當地方に買付に對する調査資料の蒐集に社員を派遣し來りたるが實際の買付を爲すを聞かず。

カバルキン ドレーフス等は其の買付の手を當地方に入れ居らず。

四 滿洲國

相場下落の爲活躍面白からず。

商習慣

一 元來青田取引と稱する先物賣買盛に行はれたるも右は買手筋としても相當貸倒或は相場下落に因り思はざる大損失を來す虞あり。

賣手側に於ても値を叩かれる不利なる關係上一般に之を喜ばざる傾向を生じ其の取引數を減じつつありたる處滿洲國の成立後右は弊害多しとの見地より之が禁止を見現今に於ては本取引は行はれざるに至れり。

二 大體現金取引多く以前の如く前渡金を要するが如き陋風次第に其の影を潛むるに至れり。

乍然地方の治安安全からず從て現金の保管或は授受に危險なる場合は安全地帯を指定し同地に於て支拂を爲すが如き事實をも有す。

取引方法

一 現物取引

混保證券取引

貨車乗取引

院内渡

馬車卸

奉天來縣

日本商

昨年度に於て三井、三菱及其他特産商等は出張員を派し或は特産プロカーをして買付を爲さしめたるも本年度に於ては大連市場にて自己の欲する相場を以て自由に入手し得るに依り多額の經費を消費するの要無き爲當縣方面に於ては何等買付の事實無きが如し。

滿商

特産物相場の暴落の爲逆鞘を生じ特産商の買付は夫れ自身損失を招來すること明にして且將來に於ける相場高の見込材料皆無なる爲各糧は地方に於ける消費其他特殊用途、思惑買以外には積極的に買付を爲さざる爲其の營業不振を極め閉鎖、休業する者多し。

外國商

實際は昨年度當地方に於ける一〇〇社車見當の買付を爲したるやに聞ても本年度は未だ買付の事實を聞かず滿人プロカー三を使用し買付を爲し居るとも稱す。

取引商慣習

- 一 存金條子に依る支拂方法
- 二 混合保管の合格を條件として事前に大豆の賣放を爲す方法

の二あり

前者は代金後拂制度にして其の際一種の預り證を賣主に交付し指定期日に之と引換に代金を支拂ふ方法を言ふ
後者は糧棧に對し農家が混合保管合格を條件として賣渡し其の合格迄の責任は農家に於て負ふ方法なり。
其の他は總て現金にて取引の決済を爲すを常態とす。

續 遼東縣

取引狀態

日本商

昨年度に於ては三井或は當地方特産プロカー武生某等か三〇〇社車程度の買付を爲したるも本年度に於ては逆鞘にて全く商取引の成立不可能なる情勢下に在るを以て大連市場を左右する日本商人は殊更に當地方に出張買付の要無く若必要ありとすれば同市場にて容易に入手し得る爲本年度に於ける邦商の活躍は全然休止狀態と成りたり。

滿洲國商

本年度に於ては對外需要の激減を基因として生じたる特産物相場の未曾有の暴落が特産商をして輸出向大豆の買付を殆ど不可能とする相場を生ぜしめたる爲此の方面向大豆の買付は全く休止し單に地方消費に充つべき原料大豆の買付のみを僅に爲し居る狀態なるを以て其の活躍も消極且不振を極め些かの活氣無し。

商慣習

普通一般に行はれ居るは現物の引渡と同時に代金の支拂を爲す現金取引なるも其の外にも又當地方の特殊商慣習として「存金條子」と稱する取引決済方法行はれつつあり

同方法は賣買成立貨物の引渡と同時に現金の支拂を爲さず一定期間の經過後代金の支拂を爲すものにして其の支拂未済期間中賣主に對し預證式の證書の交付を爲し期日到来の際は本證書引換に現金の支拂を爲す方法なり。

遼 南 縣

取引状況

日 商

昨年度に於ては三井及特産ブローカー武生某は當縣内にて約二〇〇社車程度の買付を爲したるも本年度は逆轉の爲遠方産地に於てよりも大連市場にて買付を爲す方が有利に且自己の欲する相場に近きものを自由に得られ尙又海外に於ける需要激減の結果は他商との競争も其の必要無きに至りたるを以て未だ當地方にて買付を爲したることを聞かず。

滿 商

需要の激減、相場の暴落に因り買付、輪移出澁滞し居り従て滿商側としても將來に對する強材料の出現せざる限り其の買付は消極的に終始せざるを得ざる状態に在り
故に糧棧中利益を擧ぐる者皆無にして殆ど全部は缺損を續け居るが如き状態なり。

蘇 聯 商

従前寶隆等は滿人ブローカーの手を經、一〇〇社車見當の買付を爲したりと謂ふも本期に於ては直接間接共に當地に於て買付を爲したるが如き模様無し。

取引事情

普通の特産物取引は現金取引に依り其の代金の決済が爲されつつあるも當縣内に於ては又次の如き方法に依り特産物の賣買行はる。

一 存金條子の方法

買主は現金に依らず一定の期日に代金の支拂を爲すことを約し其の間は買主より賣主に對し預り證式の證書を交付し指定せられたるときに之と交換に代金の支拂を受くる方法

二 委託買付

イ 糧棧に對し特産物の買付を依頼する場合は原則として所要代金を先に交付す

ロ 信用厚く且關係深き糧棧との間に於ては特産物の買付を了したる後五日間内に代金の支拂を爲す方法あり

ハ 委託買入の場合は普通一分—一分五厘の手數料を徴せらる。

三 委託賣却

糧棧に囤積と爲し置き好機を見て之を賣放つ方法

此の際に於て賣主は糧棧より時價の六〇%八〇%の資金の融通を受くることを得但し利息支拂の要無し。

(囤積料金一〇〇石に付八元とす)

四 青田取引

官の禁止命令に依り本方法は行はれず。

開 通 縣

取引状況

日 本 商

例年は各大手筋の出張員或は其の手先ブローカーの入込む者あり本期に於ては特産物の海外に於ける需要の激減と目下の所相場の高騰すべき何等強材料を有せずしてデリ落の状態に在る爲買付に非常の危険を伴ふを以て邦商の手に依りて買付けるるもの殆ど無し。

其 の 他

其の他寶隆等の哈市在住外商筋の買付は當縣内に於ては表面的には殆ど無し乍然四平街方面に於て最近寶隆は滿人特産物ブローカーをして買付を爲さしめ居れりとの風説有るを以て之を事實とすれば當地方に於けるものが幾分彼等の手に買付けら

れ居るべし

取引事情

當地方に於ける取引態様の大體左の如し

- 一 農民中即時に資金を要し或は即時手持品の處分を爲すを有利とする場合は最寄又は場相上有利なる市場に搬出の上油坊焼鍋、糶棧等に賣放ち現物の引渡と代金の支拂を同時に爲す方法
 - 二 賣買契約成立と同時に現物の引渡以前に代金の一部を手付として支拂ふ方法
現在の如き相場の下落したる今日に於ては斯かる方法は全然行はれざれ共相場の好調を續くる場合は本方法に依り農民よりの買付盛に行はる。
 - 三 農民は糶棧をして適當なる相場の出現したるときに賣放を爲さしむべき指値式委託賣放方法
大農、資産階級の主として爲す方法にして小農民の如き資力少く耐久力を缺くものは本方法に依るが如きこと殆ど無し
 - 四 糶棧、輸出商間の取引は殆ど現金取引にして賣買成立の其の手續完了と同時に現金の支拂の爲すを普通とす
乍然此の外にも輸出商は糶棧又は其の手先ブローカーをして指値式買付を爲さしむること亦尠からず。
- 賣買手数料
- 糶棧乃至は特産ブローカーが需要筋より穀物の賣買を委託せられたる場合は次の如き手数料を徴するを普通とす
- 一 需要者に代り穀物の賣買を爲す場合 一石に付 二分
 - 二 囤積大豆の賣買の場合 一分五
 - 三 先物糶石の取引の場合 一社車に付 二分
 - 四 買付糶石を院内積と爲したる場合其の要する一切の費用は委託者持とす
 - 五 麻袋詰に要する手数料として

一袋に付	普通品	七分
	混保品	八分

六 混保大豆の輸送に付する迄の諸手續料として

一社車に付 一元

七 委託賣買品を糶棧内に運搬する場合は其の要したる費用は委託者持とす

八 糶石の輸送の爲賃車積手数料

一社車 一元

九 糶棧驛構内積を爲し置く場合の下敷散料

一社車に付	春、夏毎季	一四元
	秋、冬毎季	四元

一〇 糶棧院内に囤積を爲すときは三月、六月兩期に分ち一斗に付二升を目減りとして糶棧に與ふるものとす

一一 囤積糶石の乾燥置替に要する費用は委託者持とす

一二 積囤積の保管料として一年を四期に分ち每期一囤積に付一二元、又其の他雜費として六元を要す

遼 源 縣

日本商の活躍

例年なれば三井三菱其の他大連市場に於ける有力大手筋は奥地方面に出張員を派し或は各地特産ブローカーを手先として盛に買付を爲すを普通とするも當今の如き特産界の不況は全く之等大手筋の活動を鈍らし殆ど奥地買付の如き方法を見ざるに至れり。

最近四平街方面に三泰油房が進出積極的買付を爲し居ると云ふも當縣内迄は未だ進出を見ざるもの如し。

滿洲國商

相場を見越し思惑買を爲すが如きは當今の如き「ヂリア」相場を常態とする場合は非常なる危険を伴ふ爲各地糧棧共斯かる方法は全然取らず僅に委託賣買の消極的取引のみに限り營業を爲し居る程度にて其の活動に何等の精氣なし

外國商

寶隆が滿人仲介人を使役し買付し居ると云ふも其の數量は極めて微々たるものゝ如し。

他は殆ど皆無

取引事情

當縣内に於ける取引の方法を見るに大體左の如き方法に依りて特産物の引渡と代金の支拂が行はれつつあり。

A 現物取引

農民は自己の農産物を賣放つ爲最寄或は相場の點にて有利なる市場に搬出し自身又は經紀即仲介人の手を経て糧棧、油房、燒鍋等に適當なる相場にて賣却し同時に現物を引渡し代金を受取る方法に依る。

右は主として資金を即時に必要とする者又は中農以下の農民との間に多く行はるる方法なり。

而して他方相場良好にて利益多き場合は糧棧は坐して農民の賣放を待たず進んで他同業者を排しより多くの買付を爲さんと車店其の他特産「ブローカー」と連絡を計り又は店員を奥地に派して自己糧棧への賣放を爲さしむべく勸誘を試み更に進んでは一車未滿其の他小口特産物の現金買付を行ひ小農民の輸送手数を軽減する方法に依り貨物の蒐集に努む、前者は之を接車的、後者は搗働と稱し居るも現今の如き相場の下落激しき時代に在りては本方法の如き積極的なる買付は殆ど其の影を見ず。

B 先物取引

俗に現錢期豆又は定豆子と稱せられ賣買契約の成立と同時に代金の一部を手附として前渡し残項は商品の引渡を受くる際に支拂ふ方法にして現今は殆ど實際には行はれ居らず。

C 委託販賣

俗に現豆期錢、存豆子と稱する方法にして現物を指價に依り糧棧をして賣放たしむる場合及全部糧棧に一任し適當なる時期に賣放を爲さしむる場合とあり是等は總て資力多き大農糧棧間に行はるるを普通とす。

梨 樹 縣

取引狀態

日本商

獨逸の工業原料品の輸入數量制限及關領ジャワの輸入禁止並日本内地に於ける需要の減退は特産物相場を益落潮に向はしめ大正三年度以來未だ嘗て見ざる安値を示したるを以て大連市場大手筋は全然買付氣分を喪失し従て當地方の如き仲介乃至はブローカーの特産商を有するのみなる土賣柄にては特に思惑を爲す丈の資力も無く買付依頼の杜絶に因り忽ち活氣と活動の範圍を失ひて全く火の消えたるが如き狀態を現出せり

又金融各機關の如きも特産商に對する囤積を擔保とする貸付或は信用貸を全然手控へたるを以て特産商は全く二進も三進もつかざる有様。

昌 圖 縣

日本商

三井、三菱其の他大連市場に於ける大手筋は特産相場の暴落を見ず其の海外の需要の相場ありし當時には出張員を各地に派し或は特産ブローカーをして盛に買付を爲さしめたるが本期に於ては特産物に對する海外の需要が非常に減退を見たる結果其の活躍狀態極めて消極的にて現地買付等の事實なし

只四平街方面に於ける特産商は大連市場の小量買付依頼に依り其の註文内の買付を爲しつつあるを以て當縣内小糧棧より其の都度必要の幾分の買付を爲しつつあり

特産物の相場の暴落は特産界を沈滞の裡に追落し好況とは稱し得ざる状態にあり
 乍ら當縣内の特産物は高粱、穀子、大豆が其の輪移出の大宗を爲す關係上大豆に對する需要の減退、相場の下落を來したり
 と雖も朝鮮向穀子等の需要相當多量なるを以て直に絶對的打撃を受けざる特種的素因を有すると地方消費を目的とする油房
 燒鍋等ありて其の製造原料を買付くる關係上油房乃至燒鍋兼業の糧棧は一般經濟界の不況裡に在り乍ら兎に角收支相償ふ程
 度の營業成績を擧げつゝあり。

外 商

實隆は最近四平街方面に於ける滿人特産ブローカーをして其の必要特産物の買付を始めたりと稱し居るも未だ本縣迄は其の
 買付の手を延し居らず。

取引方法

特産物の取引方法として普通行はるるものは

- 1 現金に依る賣買
 - イ 囤積を爲し或は乾燥精白を加ふる場合は實費
 - ロ 買付貨物を囤積と爲し置く場合は一期間三箇月毎に一斗に付二分の保管料
 - ハ 其の他種々なる費用は總て依託者の負擔とす。
- 2 證券賣買

當縣内より朝鮮向け小米多く従つて之等の取引に就ては荷送證券を銀行其の他に賣却事前に現金に替へる方法一般に行はる
- 3 依託賣買
 - 1 に就ては搗働人或は接車的と稱する特産ブローカーありて前者は小農民の手持品を現地に出張買付け後者は主要村落に

出張其の屬する糧棧に賣放を爲さしむべく勧誘に出向く方法にて此の際は幾分の手付金を前渡するを常とするも需要の減
 退を來し相場の下落したる今日は斯る方法に依り特産物の買付を爲す必要を認めざるに至りたる爲本年度は本方法等に依
 る買付は殆どなし。

其の他は農民自身に於て最寄の市場に搬出糧棧に賣放ち總て現金に依り特産物の取引を決済するを常態とす。

- 3 に就ては糧棧或は特産ブローカーに對し其の買付賣放を依頼する方法にして普通下の如き手数料を徴せらる。
 - イ 買付手数料 一元に付 二分
 - ロ 買主及賣主に代つて貨物積卸を爲す場合 一元に付 二分
 - ハ 貨物運搬を爲す場合 一馬車毎 四角

地に彷徨ひつゝあり

唯特例とする處は三泰油坊方面に於て當地の特産商と連絡を取り買付を内々開始したる事實にして何に依りて此の逆轉
 に落ちたる時に際し積極的買付を爲すやに就き一般立人筋より奇異の眼を以て見られ居れり。

滿 商

特産物相場の暴落は現在の如き情勢下に於ては到底需要擡頭を來すべき何等の強材料をも見出し得ざると各金融業者が危険
 なる特産物を對象とする投資を全然手控ふるに至りたる爲破産者及休業者を續出せしめ單に地方の消費を目的とする原料の
 買付を爲すのみにて他に何等積極的買付を行はざるを以て滿人特産商も亦其の氣勢舉らず不況不振の内に餘喘を續けつゝあ
 る程度なり。

外 商

當地方に於ては外商としては實隆が滿人ブローカーを手先として幾分買付を爲したりと謂ふも其の數量多からず高々五、六
 ○社車見當ならむと稱せらる

其の他には外商の買付事實無し。

商慣習

- 一 普通取引は現金に依り其の代金と現物の授受を爲すものにて此の方法最廣く行はる
- 二 商談の成立と同時に代金の一部乃至は全部を支拂ふ方法
郭家店糧棧と農民間に行はる
- 三 委託賣買

イ 農家が糧棧に對し自己の有する穀物を引渡し其の際糧棧に指値にて或は適當なる時機に賣放を爲さしむる方法
ロ 糧棧に對し輸出商が一定の値段にて買付を依頼する方法

仲介手数料

委託賣買手数料 一元に付 一分

囤積手数料

買付の分 三箇月毎に二―四％特産物を糧棧に與ふるを普通とす
賣却の分 一元に付 五厘

囤積雜費

自 二月一日 一囤積に付 八元
至 一月一日

自 一月一日 四元
至 翌年二月一日

諸手数料

乾燥の場合 一回毎に五％の穀物を糧棧に與ふ

汽車積の場合 一社車毎に 三元

汽車卸の場合 一件に付 一角―五角

火保険料

賣買契約成立後一五日を経過するも貨物を引取らざるときは

一千元に付 八角

封袋費 一袋に付 一分

検斤手数料 一元に付 一分

第二節 工業

工業概況

當地方は農産資源に富むと雖も工業の必需條件たる

一 燃料

二 水

三 鐵

等を缺き、且人口稀薄にして工業製造品の需要範圍極めて狭小なる關係上、近代的化學工業の發達の餘地なく、只僅に舊來よりの農産物を其の製造對照とする

一 油 房

- 二 燒 酒
- 三 製 粉

等が稍數多を占め他は幼稚なる技術を以て小資本を投じ、規模小さく事業を営む窯業、獸毛加工、製材、火柴、製紙、織布、石鹼等の小工業を見るのみなり。

依て中央政府に於ては只に當路沿線各地のみならず、全般的工業の不振なるに鑑み其の振興策として實業部商工司及其他關係各機關指導統制の下に、各省實業廳、民政廳、各縣實業局をして之が指導と税金の免除其の他の特點を與へ、大いに勸業に努めつつあれば、治安の確立、交通の利便、人口の増加につれ將來相當の成績を招來するものと見られつつあり。

尙工業の將來として、當路沿線各縣には工業の要素たる燃料、水、鐵等を有せざる爲め現在に於ては製粉、製油、釀酒等の如く地方消費を目的とする小規模なるものの外、全く工業部門に入る得る形態を有するものなし。

- 1、製 粉

滿洲農産品の大宗を爲す大豆の連年に亘る相場の下落到途ひ、全く農家自身の收支の「バランス」を失するに至りたる結果滿洲國政府は之に代ふるに小麥自作の獎勵を爲すに至り、漸次其の收穫の増加と國稅稅率の改訂に伴ふ輸入粉の新課税は、勢ひ製粉業發展を招來すべきものと見られるも、目下の現狀は貧弱を極む。

- 2、製油、釀酒

油、酒は滿洲人間に於ける需要絶大なるものなれば、單に地方的消費を目的とする製造範圍内に止る場合は、不況乃至は穀價の暴落を續くと雖も、採算の取れざるが如きことなし。

- 3、電氣工業

電氣工業は、其の利潤率大ならざるも、堅實なる企業にて世の景、不景氣に煩はざること少なく爲めに今後に於ける治安の絶對的恢復と、人口の増加とは相當確實なる基礎を次第に築くに至るべし。

- 4、其の他

其の他は雜手工業あるも將來云々と稱すべき程度に至らず。

各縣工業

龍鎮縣

工業と稱す可き程のものなく、只燒鍋、油房或は荷馬車其の他の木機の製作を小規模に爲す程度なり。

克山縣

本縣に於ける工業は、他縣と同様何等見るべきもの無く、殆ど總ては家内工業乃至は手工業の域を脱せず幼稚なり。而して稍規模大なるものとしては、

- 製粉公司 一
- 油 坊 六
- 燒 鍋 三
- 醬 園 二

を有するのみにて、他は論ずるに足らざる態のものなり。

訥河縣

工業發達の程度低きは、他縣同様なるも、之を他縣に對比するときは幾分投資額の多き製粉、製油、酒造業を見るも、乍然資

龍江縣

本一、〇〇〇元以上の各種工業を擧ぐれば、僅に一二軒を算するに過ぎず、他は殆ど小資本の小工業のみなり。

齊齊哈爾市

龍江縣及齊齊哈爾市に於ける工業は、其の要素たる可き工業用水、原料、燃料に恵まれざると文化の程度低き爲め、依然幼稚なる手工業の域を脱せず、従つて之等製造工業の品殆ど全部は、南滿或は諸外國より之を仰がざるを得ざる状態にして、且つ當分の間は特殊なる事情の發生せざる限り、其の工業の勃興を期待し得ず。

奉天縣

本縣内に於ける工業は齊北沿線各縣同様にして豆油豆粕の製造工業白酒の醸造業を小規模に爲すものを有する程度なり。

鎮東縣

當縣に於ける工業は製油、酒造の二工業の外他に見るべきもの無し。
而して製油、酒造工業に就ても其の製造は極めて舊式なる機械と手法とに依り居る爲め、其の能率低く他に何等か斬新なる機械と手法とを採用するに非ざれば、工業の發達と供給の増加を期せらざる現状に在り。

洮安縣

工業は幼稚にして資本金一、〇〇〇元以上を以て經營を續ける者は僅に六軒内一萬元以上は三軒と言ふ状態なり。
乍然本縣の工業の白眉たる燒酒は、其の產出比較的多く、他沿線地方に相當移出せられ白城子燒酒の名あり。

洮南縣

縣内に於ける工業中一、〇〇〇元以上の資本金のものを擧ぐれば燒鍋、醬油、鐵工所、精米、木工所、染房等の一三軒を有するのみにて他は殆ど論ずるに足るもの無し。

各工業 戸數

裁縫業	三三三
柳行李製造業	三
印刷業	一四
材木業	四二
鐵工業	五二
染物業	四
靴業	二四
製紙業	一
毯子業	三
寫眞屋	三
時計修理	七

開通縣

要するに當縣内に於ける工業は、幼稚を極め何等今後を囑望せらるべき程のものを見ず。

縣内に於ける工業を見るに資本金一、〇〇〇元資上のもの僅に四軒、内一は油房三は燒鍋と謂ふ貧弱なる状態にて他には何等言ふ可き税のものを有せず。

遼源縣

當縣に於ける工業は殆ど見るべきものなく、其の大部分は農産物に加工し、地方消費に當つる油坊、燒鍋、その他雜工業のみなり。

昌圖縣

單なる農産物を加工地元に於て消費を目的とする小規模なる工業のみにして、他に何等取り立てて云ふ程のものなし。

梨樹縣

縣内及四平街滿鐵附屬地に於ける工業の狀態を見るに、依然其の發達の程度低く殆ど全部が附近の消費を目的とする小規模のもののみなるが、四平街に於ける工業は、四洮、洮昂沿線の各都市に比する場合は、遙に優り、資本金一〇、〇〇〇圓以上のもの一六、内一〇〇、〇〇〇圓以上五を有す。
而して之等の工業中其の最多數きは精穀業及油坊にして、資本の多額なるは電気及煉瓦工業なりとす。

各縣工業

龍鎮縣 北安鎮

油房 燒鍋

(康德元年)

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資	本國籍	員從事	種類	製造	金額	工場數	動力	其ノ他	備考
同聚成	北安	大同元年十月	四,〇〇〇元	合資	滿洲國	三五	白酒	三〇滿斤	三,〇〇〇元	一	牛		營業者名、任如松 不振
孟小	北安	二年十二月	二,〇〇〇	獨資		一三	油餅	一五〇斤	一七,〇〇〇	一			不振
萬聚成	北安	二年十月	一,〇〇〇	獨資		九	豆	四〇斤	五,〇〇〇	一			不振
同聚成	北安	元年十月	二,〇〇〇	合資		八	豆	三〇斤	四,〇〇〇	一			不振
東盛隆	北安	二年九月	五〇〇	合資		十	豆	四〇斤	五,〇〇〇	一			不振

木廠

(康德元年)

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資	本國籍	員從事	種類	製造	金額	工場數	動力	其ノ他	備考
永和隆	北安	大同二年四月	五〇元	合資	滿洲國	五	木器	四	一五元	一	人力		營業者名、主維芳 不振

鑄鐵業

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資	本國籍	員從事	種類	製造	金額	工場數	動力	其ノ他	備考
萬盛和	北安	大同二年九月	三〇〇元	合資	滿洲國	四	生鐵器具	一〇	一二元	一	人力		營業者名、傅永順 不振
福泰和	北安	二年八月	三〇〇	獨資		七	農具	一三	一五元	一			不振

克山縣

油房 燒鍋

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資	本國籍	員從事	種類	製造	金額	工場數	動力	其ノ他	備考
順和祥	克山縣城	民國七年十月	一〇,〇〇〇元	合資	滿洲國	一二	豆	三〇,〇〇〇斤	三〇,〇〇〇元	一	畜人力		
福源和	克山縣城	大同元年十一月	五,〇〇〇	獨資		一一	豆	三〇,〇〇〇斤	三〇,〇〇〇元	一	畜人力		
慶河泉	克山縣城	民國七年十月	三,〇〇〇	合資		一二	豆	三〇,〇〇〇斤	三〇,〇〇〇元	一	畜人力		
海盛祥	克山縣城	十四年二月	八,〇〇〇	獨資		一三	豆	三〇,〇〇〇斤	三〇,〇〇〇元	一	畜人力		
天德湧	克山縣城	大同元年九月	三,〇〇〇	獨資		九	豆	三〇,〇〇〇斤	三〇,〇〇〇元	一	畜人力		
德使匯	克山縣城	民國十七年十月	七,〇〇〇	獨資		一四	豆	三〇,〇〇〇斤	三〇,〇〇〇元	一	畜人力		
海盛祥	克山縣城	民國十二年七月	二,〇〇〇	合資		三五	豆	三〇,〇〇〇斤	三〇,〇〇〇元	一	畜人力		

製粉

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資	國籍	員從事數	種類	數量	金額	工場數	動力	其/他	備	考
義祥	克山縣城	民國十八年六月	一四,000元	合資	滿洲國	五〇	面粉	五,七〇,〇〇〇斤	三九,六〇〇元	一	火力			

皮鞋業

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資	國籍	員從事數	種類	數量	金額	工場數	動力	其/他	備	考
玉記	克山縣城	大同二年十月	一,〇〇〇元	獨資	滿洲國	二	鞋	一,〇〇〇雙	三,〇〇〇元	一	人力			
福源	"	民國二十年四月	一,〇〇〇元	合資	"	八	鞋	"	一,〇〇〇元	一	"			

醬油

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資	國籍	員從事數	種類	數量	金額	工場數	動力	其/他	備	考
同興醬園	克山縣城	大同元年二月	二,〇〇〇元	合資	滿洲國	一〇	醬油	"	一,〇〇〇元	一	人力			
福興泉	"	民國十一年三月	二,〇〇〇元	"	"	九	"	"	一,〇〇〇元	一	"			

印刷

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資	國籍	員從事數	種類	數量	金額	工場數	動力	其/他	備	考
東昇石印局	克山縣城	民國十九年七月	一,〇〇〇元	合資	滿洲國	七	印刷	"	一,〇〇〇元	一	人力			

染房

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資	國籍	員從事數	種類	數量	金額	工場數	動力	其/他	備	考
同發源染店	克山縣城	大同二年七月	七,一四〇元	合資	滿洲國	七	染布	"	三〇〇元	一	人力			

訥河縣

油房 燒鍋

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資	國籍	員從事數	種類	數量	金額	工場數	動力	其/他	備	考
萬興	"	大同二年一月	二五,〇〇〇元	"	滿洲國	三三	燒油	四二〇斤	六三元	一	火力			
同盛	"	民國五年三月	二,〇〇〇元	"	"	一〇	豆油	餅八四塊	二四五元	一	火力			
大興	"	十五年二月	二五,〇〇〇元	"	"	四四	燒油	餅八四塊	六三元	一	火力			
東盛	"	二年一月	二,〇〇〇元	"	"	一四	豆油	餅八四塊	二四五元	一	火力			
永茂	"	十七年九月	三,〇〇〇元	"	"	一七	面粉	九一〇斤	七二元	一	"			
永和	"	十九年九月	二五,〇〇〇元	"	"	五八	燒油	餅八四塊	二四五元	一	火力			
海泉	"	大同二年三月	一,〇〇〇元	"	"	一四	豆油	餅八四塊	二四五元	一	火力			
同順	"	二年一月	二,〇〇〇元	"	"	一三	"	"	"	一	"			
運通	"	二年十一月	一,〇〇〇元	"	"	一	"	"	"	一	"			
早豐油房	"	二年八月	一,五〇〇元	"	"	七	"	"	"	一	"			

龍江縣 齊之哈爾市

油房 燒鍋

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資方法	國籍	員從事數	種類	數量	金額	工場數	動力	其他	備考
義增永	正陽街	康德元年五月	三〇,〇〇〇	獨資	滿洲國	一五	麵粉						
振太油房	坤順街	民國十二年	一〇,〇〇〇	獨資	滿洲國	二四	麵粉						
和興永	東榮市街	民國十二年八月	五,七四〇	合資	滿洲國	二五	麵粉						
福源厚	全盛胡同	康德元年一月	五,〇〇〇	獨資	滿洲國	一五	麵粉						
天德合	啓明街	民國十七年十月	三,〇〇〇	獨資	滿洲國	二二	麵粉						
天德合	東盛街	大同三年一月	三,四〇〇	獨資	滿洲國	一七	麵粉						
聚源永	海山胡同	民國十二年九月	三,八〇〇	獨資	滿洲國	七〇	麵粉						
裕泉湧	東榮市	大同二年六月	五,〇〇〇	獨資	滿洲國	五五	麵粉						
永發成	公園路	同治十年	一〇,〇〇〇	獨資	滿洲國	三三	麵粉						
							豆油	一〇,〇〇〇斤	三,六〇〇		一電氣		
							粕油	三〇,〇〇〇斤	一,七〇〇		夕		

火磨

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資方法	國籍	員從事數	種類	數量	金額	工場數	動力	其他	備考
德增火磨	龍門大街	大同二年九月	三〇,〇〇〇	合資	滿洲國	一八	麵粉						

醬油

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資方法	國籍	員從事數	種類	數量	金額	工場數	動力	其他	備考
正德醬房	正陽街	民國十八年十月	五,〇〇〇	合資	滿洲國	一〇	醬油		一,四〇〇				
大同醬園	啓明街	民國十九年九月	三,〇〇〇	合資	滿洲國	五	醬油		七,〇〇〇				

木廠

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資方法	國籍	員從事數	種類	數量	金額	工場數	動力	其他	備考
東發長	東榮市街	民國十八年八月	五,〇〇〇	獨資	滿洲國	一〇	大紅車	三〇	八,〇〇〇				
文隆工場	永安大街	民國二年八月	四,〇〇〇	獨資	滿洲國	二二	戶機	二四〇	六,〇〇〇				
禮隆永		民國二十年七月	一〇,〇〇〇	獨資	滿洲國	一四	戶機	一八〇	一四,〇〇〇				

鐵工業

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資方法	國籍	員從事數	種類	數量	金額	工場數	動力	其他	備考
日新恒	興隆街	國民十九年七月	一,〇〇〇	合資	滿洲國	一四	鐵工		七,〇〇〇				
天增順		光緒廿八年二月	八〇〇	合資	滿洲國	二	鐵工		六,〇〇〇				

縫物業

企業名	所在地	設立年月日	資本	出資	國籍	員從	種類	製造	品	金額	工場	動力	其/他	備	考
新華工廠	永安里	民國廿年六月	五〇〇元	獨資	滿洲國	一〇	縫衣	八、〇〇〇	品	八、〇〇〇元					江大洋

密業

企業名	所在地	設立年月日	資本	出資	國籍	員從	種類	製造	品	金額	工場	動力	其/他	備	考
龍江興業公司	齊哈爾 丁北三〇	大同二年六月	三〇〇元	合資	日本	六〇〇	練瓦	七〇〇、〇〇〇	品	八、〇〇〇					日本金

皮靴

企業名	所在地	設立年月日	資本	出資	國籍	員從	種類	製造	品	金額	工場	動力	其/他	備	考
真正振武	中興街	民國十年二月	五〇〇元	合資	滿洲國	四	製靴	一、〇〇〇	品	九、〇〇〇					國幣
瑞華	南大街	大同二年三月	五〇〇元	獨資		四		一、〇〇〇	品	六、〇〇〇					國幣

製紙

企業名	所在地	設立年月日	資本	出資	國籍	員從	種類	製造	品	金額	工場	動力	其/他	備	考
福隆泉	中學街	民國二十年七月	二五〇元	獨資	滿洲國	一二	星文紙	一四〇〇	品	二二〇元					國幣

織物

企業名	所在地	設立年月日	資本	出資	國籍	員從	種類	製造	品	金額	工場	動力	其/他	備	考
博濟工廠	豐恒胡同	民國十八年十月	三〇〇元	官營	滿洲國	九	洋毛襪布		品	八、四〇〇元					社會事業、雜業

印刷

企業名	所在地	設立年月日	資本	出資	國籍	員從	種類	製造	品	金額	工場	動力	其/他	備	考
啓明印刷局	南大街	民國十八年七月	三〇〇元	合資	滿洲國	一二			品						
龍江印刷局	"	大同二年八月	三〇〇元	獨資		一三			品						

染房

企業名	所在地	設立年月日	資本	出資	國籍	員從	種類	製造	品	金額	工場	動力	其/他	備	考
永增源	頭道街	民國十九年二月	三、〇〇〇元	合資	滿洲國	二			品						
三合源	清眞寺	"	一、〇〇〇元	"	"	一〇			品						
匯源	禮和胡同	"	一、〇〇〇元	"	"	一〇			品						

泰來縣

油房 燒鍋

第三章 商工業及金融

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資	本國籍	員從事	種類	製造量	金額	工場數	動力	其/他	備	考
同發永	縣城北大街	民國十七年十月	二〇,〇〇〇元	合資	滿洲國	三七	油餅	二〇,〇〇〇斤	二〇,〇〇〇元	一	汽力機		一	台
富盛源	"	"	三,〇〇〇	獨資	"	一七	油餅	三,〇〇〇斤	三,〇〇〇元	一	馬			
永豐源	"	"	三,〇〇〇	獨資	"	六八	油餅	三,〇〇〇斤	三,〇〇〇元	一	汽力機			
福源德	"	"	五,〇〇〇	獨資	"	五六	酒	五,〇〇〇斤	五,〇〇〇元	一	汽力機			
滙豐源	"	"	三,〇〇〇	合資	"	四四	酒	三,〇〇〇斤	三,〇〇〇元	一	人馬			
大同元年三月														

木廠

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資	本國籍	員從事	種類	製造量	金額	工場數	動力	其/他	備	考
富盛和	"	民國十年二月	一,五〇〇元	獨資	滿洲國	七	檜、櫟	一五個	七〇〇元	一	人力			

皮鞋

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資	本國籍	員從事	種類	製造量	金額	工場數	動力	其/他	備	考
義發順	"	民國二十年二月	一,〇〇〇元	獨資	滿洲國	六	鞋	一,〇〇〇足	一,〇〇〇元	一	小刀子			
王盛發	"	"	一,〇〇〇	獨資	"	"	"	一,〇〇〇	一,〇〇〇元	一	"			
長盛興	"	三月	"	"	"	"	"	一,〇〇〇	一,〇〇〇元	一	"			

鑄鐵業

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資	本國籍	員從事	種類	製造量	金額	工場數	動力	其/他	備	考
義和長	"	大同二年二月	"	"	"	"	"	九〇〇	一,〇〇〇元	一	"			
春發長	"	民國十七年二月	"	"	"	"	"	九〇〇	一,〇〇〇元	一	"			
聚興長	"	民國十三年二月	一,〇〇〇元	合資	滿洲國	八	鑄	三,二五〇件	九〇〇元	一	人力			

鑄東縣 油房 燒鍋

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資	本國籍	員從事	種類	製造量	金額	工場數	動力	其/他	備	考
衡興公	縣城北大街	民國五年十月	二,〇〇〇元	獨資	滿洲國	三五	酒	四五〇斤	二,〇〇〇元	一	人馬			
和盛泉	西大街	"	二,〇〇〇	合資	"	二七	油	二七斤	二,〇〇〇元	一	"			
衡興公	北大街	"	五〇〇	獨資	"	三〇	油	一三六斤	五〇〇元	一	"			
和盛源	正大街	"	八〇〇	獨資	"	"	油	二七斤	三,〇〇〇元	一	"			
永順茂	東屏鎮	"	一,〇〇〇	獨資	"	六三	酒	五六斤	六,〇〇〇元	一	火油機			
慶豐長	"	大同二年六月	五,〇〇〇元	合資	"	一九	油	四一〇斤	五,〇〇〇元	一	"			
民國十九年二月														

洮安縣 第三章 商工業及金融

齊北·平齊沿線經濟事情
油房 燒鍋

二五〇

企業名	所在地	設立年月日	資本金	資本來源	國籍	員從事數	種類	數量	金額	工場數	動力	其/他	備考
福豐源	縣城大街	民國十八年九月	三,〇〇〇元	獨資	滿洲國	一六	燒酒	四五〇斤	每百斤	一	三馬力		
永盛源	"	大同二年十一月	七,〇〇〇	合資	"	一二	"	四五〇斤	"	一	三馬力		
福豐源	"	民國十八年九月	二〇,〇〇〇	獨資	"	一八	豆油	四五〇斤	每百斤	一	三馬力		
福源	"	八月	一〇,〇〇〇	合資	"	六	"	一六〇斤	每百斤	一	三馬力		
三義公	"	大同二年十月	八,〇〇〇	獨資	"	八	"	一二五斤	一二元	一	三馬力		

洮南縣

線香

企業名	所在地	設立年月日	資本金	資本來源	國籍	員從事數	種類	數量	金額	工場數	動力	其/他	備考
萬泰東香坊	福順街	大同元年五月	一,五〇〇元	合資	滿洲國	經理部四 工人三	大線香	一〇,〇〇〇封	一,五〇〇元	一	人力	六	股東代表人 李成章
							元條香	八,〇〇〇	二〇〇				
							寶蘭香	三,〇〇〇	一五〇				
							金定香	三,〇〇〇	六〇〇				
							折半香	三,〇〇〇	四〇〇				
							頂大香	五,〇〇〇	九〇〇				

金屬加工

企業名	所在地	設立年月日	資本金	資本來源	國籍	員從事數	種類	數量	金額	工場數	動力	其/他	備考
同合金店	康樂街	大同二年六月	三,九〇〇元	合資	滿洲國	經理部五 工匠七人	金首飾	五〇	六〇〇元	一	人工		股東代表 李聚寶
							鍍金品	一一	二〇				
							鍍金品	一一	二〇				
							包金品	一九〇	三,九〇〇				股東代表 喬子陽
							鍍金品	二一〇	一六〇				
							鍍金品	二一〇	一六〇				
							銀首飾	二一〇	五,四〇〇				
							鍍金品	二一〇	一六〇				
							包首飾	八〇	四〇〇				
							銀首飾	一四〇	六,九〇〇				股東代表 楊寶祥
							鍍金品	一四〇	一四〇				
							鍍金品	一四〇	一四〇				
							銀首飾	二四一〇	五,六二〇				
							鍍金品	四〇	一四〇				
							包金品	一〇〇	八〇〇				
							金首飾	一四五	一七,五〇〇				股東代表 趙綬三
							銀首飾	一八〇〇	三,七六〇				
							鍍金品	一五〇	五五〇				
							包金品	二八〇	二,三四〇				

油房 燒鍋

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資方法	本國籍	員從事數事	種類	數量	金額	工場數	動力	其/他	備考
福源昌油房	太昌街	民國十九年三月	四,500元	合	滿洲國	經理部 工人四人	豆油餅	香,000斤	四,六〇〇元	一人	馬	三	股東、史銘久 經理
德興合燒鍋油房	富文街	民國元年一月	一五,〇〇〇元	獨	滿洲國	經理部 工人四人	豆油餅	三,〇〇〇斤	三,七〇〇元	一人	馬	六	股東、張子箴 經理
豫貞慶燒鍋	會和街	民國十五年九月	一〇,〇〇〇元	獨	滿洲國	經理部 工人三人	白酒	三,〇〇〇斤	六,〇〇〇元	二人	電力	二	股東、張子惠 經理
永增源油房	同樂街	大同二年十月	二,500元	獨	滿洲國	經理部 工人二人	豆油餅	三,〇〇〇斤	三,〇〇〇元	一人	馬	二	股東、王國寶 經理
東海湧燒鍋油房	康樂街	大同二年九月	三,〇〇〇元	合	滿洲國	經理部 工人二人	豆油餅	三,〇〇〇斤	三,〇〇〇元	一人	馬	三	股東、張鳴九 經理

木廠

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資方法	本國籍	員從事數事	種類	數量	金額	工場數	動力	其/他	備考
泰平公司	富文街	大同元年七月	一〇,〇〇〇元	合	滿洲國	經理部 工人五人	木器	三,〇〇〇件	三,〇〇〇元	一人	力		股東、郭向忱 經理
永豐木廠	富文街	民國十八年一月	二,〇〇〇元	合	滿洲國	經理部 工人三人	木器	一〇,〇〇〇件	六,〇〇〇元	一人	力		股東、季源 經理

開通縣

油房 燒鍋

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資方法	本國籍	員從事數事	種類	數量	金額	工場數	動力	其/他	備考
永遠興	縣城北街	光緒三十四年三月		獨	滿洲國	經理部 工人五人	豆油	四,〇〇〇斤	四,〇〇〇元	一人	馬		
福元源	東門外	民國二年三月				經理部 工人三人	白酒	八,〇〇〇斤	八,〇〇〇元	一人	力		
鴻興泉	北街	民國三年七月				經理部 工人一人	白酒	八,〇〇〇斤	八,〇〇〇元	一人	力		
公興源	邊昭					經理部 工人一人	白酒	八,〇〇〇斤	八,〇〇〇元	一人	力		

遼源縣

釀造業

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資方法	本國籍	員從事數事	種類	數量	金額	工場數	動力	其/他	備考
峻峰源	振興街	民國十七年八月	一〇,〇〇〇元	個人	滿洲國	三七	酒	三,〇〇〇斤	三,〇〇〇元				

益源通	萬盛泉	萬源棧	萬源茂
遼東旅館	遼東旅館	遼東旅館	電報局胡同
宣統三年八月	民國二十年八月	民國二十年八月	大同一年九月
資本金 四,000元	資本金 一〇,000元	資本金 一〇,000元	資本金 一〇,000元
滿洲國	滿洲國	滿洲國	滿洲國
員從事 三五	員從事 一六	員從事 一六	員從事 一六
種類 製	種類 製	種類 製	種類 製
數量 造 三,五〇〇斤	數量 造 一,五〇〇斤	數量 造 一,五〇〇斤	數量 造 一,五〇〇斤
金額 品 元,八〇〇	金額 品 三,八〇〇	金額 品 三,八〇〇	金額 品 三,八〇〇
工場數 設 一	工場數 設 一	工場數 設 一	工場數 設 一
動力 其 備 他	動力 其 備 他	動力 其 備 他	動力 其 備 他
備 考	備 考	備 考	備 考

醬油

大豐	義生	玉發
豐源	源泉	發泉
所在地	所在地	所在地
設立年月日	設立年月日	設立年月日
資本金 一,〇〇〇元	資本金 一,〇〇〇元	資本金 一,〇〇〇元
滿洲國	滿洲國	滿洲國
員從事 數事	員從事 數事	員從事 數事
種類 製	種類 製	種類 製
數量 造 一,〇〇〇斤	數量 造 一,〇〇〇斤	數量 造 一,〇〇〇斤
金額 品 一,〇〇〇	金額 品 一,〇〇〇	金額 品 一,〇〇〇
工場數 設 一	工場數 設 一	工場數 設 一
動力 其 備 他	動力 其 備 他	動力 其 備 他
備 考	備 考	備 考

精米業

義順厚	豐聚長	儀合興	福順店
所在地	所在地	所在地	所在地
設立年月日	設立年月日	設立年月日	設立年月日
資本金 一〇,〇〇〇元	資本金 一〇,〇〇〇元	資本金 一〇,〇〇〇元	資本金 一〇,〇〇〇元
滿洲國	滿洲國	滿洲國	滿洲國
員從事 數事	員從事 數事	員從事 數事	員從事 數事
種類 製	種類 製	種類 製	種類 製
數量 造 一〇,〇〇〇斤	數量 造 一〇,〇〇〇斤	數量 造 一〇,〇〇〇斤	數量 造 一〇,〇〇〇斤
金額 品 一〇,〇〇〇	金額 品 一〇,〇〇〇	金額 品 一〇,〇〇〇	金額 品 一〇,〇〇〇
工場數 設 一	工場數 設 一	工場數 設 一	工場數 設 一
動力 其 備 他	動力 其 備 他	動力 其 備 他	動力 其 備 他
備 考	備 考	備 考	備 考

機房

德義合	胡義房	王義房	馮義房	王義房	楊義房	張義房	魏義房
所在地	所在地	所在地	所在地	所在地	所在地	所在地	所在地
設立年月日	設立年月日	設立年月日	設立年月日	設立年月日	設立年月日	設立年月日	設立年月日
資本金 不明	資本金 二,〇〇〇元	資本金 二,〇〇〇元	資本金 一,〇〇〇元	資本金 一,〇〇〇元	資本金 一,〇〇〇元	資本金 一,〇〇〇元	資本金 一,〇〇〇元
滿洲國	滿洲國	滿洲國	滿洲國	滿洲國	滿洲國	滿洲國	滿洲國
員從事 數事	員從事 數事	員從事 數事	員從事 數事	員從事 數事	員從事 數事	員從事 數事	員從事 數事
種類 製	種類 製	種類 製	種類 製	種類 製	種類 製	種類 製	種類 製
數量 造 一〇台	數量 造 一〇台	數量 造 一〇台	數量 造 一〇台	數量 造 一〇台	數量 造 一〇台	數量 造 一〇台	數量 造 一〇台
金額 品 一〇,〇〇〇	金額 品 一〇,〇〇〇	金額 品 一〇,〇〇〇	金額 品 一〇,〇〇〇	金額 品 一〇,〇〇〇	金額 品 一〇,〇〇〇	金額 品 一〇,〇〇〇	金額 品 一〇,〇〇〇
工場數 設 一	工場數 設 一	工場數 設 一	工場數 設 一	工場數 設 一	工場數 設 一	工場數 設 一	工場數 設 一
動力 其 備 他	動力 其 備 他	動力 其 備 他	動力 其 備 他	動力 其 備 他	動力 其 備 他	動力 其 備 他	動力 其 備 他
備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考	備 考

油房

福順店	萬源棧	天合長	儀合興	義順厚
所在地	所在地	所在地	所在地	所在地
設立年月日	設立年月日	設立年月日	設立年月日	設立年月日
資本金 六,〇〇〇元	資本金 六,〇〇〇元	資本金 五,〇〇〇元	資本金 三,〇〇〇元	資本金 三,〇〇〇元
滿洲國	滿洲國	滿洲國	滿洲國	滿洲國
員從事 數事	員從事 數事	員從事 數事	員從事 數事	員從事 數事
種類 製	種類 製	種類 製	種類 製	種類 製
數量 造 一〇斤	數量 造 一〇斤	數量 造 一〇斤	數量 造 一〇斤	數量 造 一〇斤
金額 品 六,〇〇〇	金額 品 六,〇〇〇	金額 品 五,〇〇〇	金額 品 三,〇〇〇	金額 品 三,〇〇〇
工場數 設 一	工場數 設 一	工場數 設 一	工場數 設 一	工場數 設 一
動力 其 備 他	動力 其 備 他	動力 其 備 他	動力 其 備 他	動力 其 備 他
備 考	備 考	備 考	備 考	備 考

永盛泰	巨盛泰	永記棧	100,000	10,000	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"	"
-----	-----	-----	---------	--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

毡子房

企業名	所在地	設立年月日	資本金	方出資	國籍	員從事	種類	數量	金額	工場數	動力	備	考
德巨永			1,000元		滿洲國							彈弓及	
德興永			1,000		"							毡子	
義興德			1,000		"							"	
慶盛永			1,000		"							"	
四合永			2,000		"							"	

靴下

企業名	所在地	設立年月日	資本金	方出資	國籍	員從事	種類	數量	金額	工場數	動力	備	考
同記工廠			1,000元		滿洲國							六機六機	
義興永			1,000元		滿洲國							台械台械	

繩麻舖

企業者名	所在地	設者年月日	資本金	方出資	國籍	員從事	種類	數量	金額	工場數	動力	備	考
同順福			1,000元		滿洲國							其小其	
永太昌			600		"							道車	
廣巨永			600		"							具他	
義興隆			500		"							"	
昇發和			500		"							"	
裕德厚			500		"							"	

皮革

企業者名	所在地	設立年月日	資本金	方出資	國籍	員從事	種類	數量	金額	工場數	動力	備	考
永慶德			1,000元		滿洲國								
鴻記皮莊			1,000		"								
世興公			1,000		"								
福德永			1,000		"								
義豐長			2,000		"								
義盛福			3,000		"								
永遠興			2,000		"								
三合盛			2,000		"								

染色

企業者名	所在地	設立年月日	資本金	出資者	國籍	員從事數	種類	製造量	金額	工場數	動力	其/他	備考
永瀨源			4,000元		滿洲國								
魁生全			3,000										
福德彩			4,000										
德益染			3,000										
德成染			3,000										
巨增長			3,000										
德玉久			3,000										
福德全			3,000										

梨樹縣

精穀業

企業者名	所在地	設立年月日	資本金	出資者	國籍	員從事數	種類	製造量	金額	工場數	動力	其/他	備考
昭利精穀所	四平街 附屬地街	民國十九年	26,000圓		日本	三人	磨粉	10車	電氣			中村清水式製粉機及ケルモノ一車ハ滿鐵	
日高商店		民國二十年	3,500			三人	磨粉	5車	電氣			中村式製粉機	
秋津商店		民國十二年	3,000			三人	磨粉	6車	馬力			中村式製粉機	
共益公司		民國十八年	10,000			六人	磨粉	4車	馬力			中村式製粉機	

木廠

企業者名	所在地	設立年月日	資本金	出資者	國籍	員從事數	種類	製造量	金額	工場數	動力	其/他	備考
高麗商店		民國十八年	10,000			五人		一				中村式製粉機	
三省號			3,500			七人		一				中村式製粉機	
泰安商店			3,000			七人		一				中村式製粉機	
平安商店			3,000			七人		一				中村式製粉機	
半島商店			7,500		滿洲國	五人		一				中村式製粉機	
天益恒		民國二十年	3,500			六人		一				中村式製粉機	
泰豐東		民國二十年	3,500			六人		一				中村式製粉機	
復勝隆		十七年	10,000			五人		一				中村式製粉機	
義和福			10,000			八人		一				中村式製粉機	
義和順		十四年	10,000			五人		一				中村式製粉機	
人和長		十六年	10,000			六人		一				中村式製粉機	
乾元恒		十三年	5,000			五人		一				中村式製粉機	

製蠟

企業者名	所在地	設立年月日	資本金	出資	國籍	員從事	種類	數量	金額	工場數	動力	其ノ他	備考
三順洪	四平街	民國十二年七月	10,000	合資	滿洲國	八〇	蠟	100,000	10,000				
天場合	四平街 四馬路	大同元年二月	6,000	合資	滿洲國	一五	蠟						

窯業

企業者名	所在地	設立年月日	資本金	出資	國籍	員從事	種類	數量	金額	工場數	動力	其ノ他	備考
亞細亞 式會社	四平街	民國八年	100,000	獨資	日本	三〇	水石	五〇萬本					製造量ハ一ケ年ニ於ケル數量ナリ
東信洋行	"	民國十八年	35,000	獨資	"	一八	瓦	三〇〇萬個					
岸業部	"	民國十二年	35,000	獨資	"	一五	管	二〇〇萬個					

醬油

企業者名	所在地	設立年月日	資本金	出資	國籍	員從事	種類	數量	金額	工場數	動力	其ノ他	備考
大豐	四平街 四馬路	民國十八年八月	1,000	合資	滿洲國	一一	醬油		10,000				

油房 燒鍋

企業者名	所在地	設立年月日	資本金	出資	國籍	員從事	種類	數量	金額	工場數	動力	其ノ他	備考
泰和益	四平街	民國十二年九月	5,000	獨資	滿洲國	七〇	燒酒	1,000斤	5,000				
富盛泉	梨樹縣城	光緒元年一月	35,000	個人	"	四八	酒	1,000斤	200				
公聚昌	榆樹台	民國十一年二月	10,000	合資	"	三七	油	1,000斤	200				
義源恒	四平街	大同一年三月	4,000	"	"	二九	豆	1,000斤	200				
東興號	郭家屯	民國十三年九月	4,000	"	"	一六	油	1,000斤	200				
會聚泉	小城子	民國十三年九月	6,000	"	"	三六	油	1,000斤	200				
德昌燒鍋	"	民國十三年	25,000	"	"		油	1,000斤	200				一日ノ製造高

精綿業

企業者名	所在地	設立年月日	資本金	出資	國籍	員從事	種類	數量	金額	工場數	動力	其ノ他	備考
義聚成	四平街	民國七年	3,000	獨資	滿洲國		蠟	1,000斤					一ケ年製造高
益興公	"	六年	2,000	"	"		蠟	1,000斤					
增順洪	"	十八年	1,000	"	"		蠟	1,000斤					
裕德棧	"	七年	1,000	"	"		蠟	1,000斤					

鑄鐵業

企業名	所在地	設立年月日	資本金	出資	國籍	員從事	種類	數量	金額	工場數	動力	其ノ他	備考
聚發合鑄	四平街	民國十六年	2,000	獨資	滿洲國		鑄	七,000元					一ケ年製造

染坊

企業者名	所在地	設立年月日	資本金	出資者	國籍	員從數	種類	數量	金額	工場數	動力其ノ他	備考
巨發染坊		民國十六年	一,000元		本國籍	二	製					
長勝對染坊		民國十六年	二,000		本國籍	二	製					
義發合染坊		十二年	一,500		本國籍	二	製					

昌圖縣 燒鍋 油房

企業者名	所在地	設立年月日	資本金	出資者	國籍	員從數	種類	數量	金額	工場數	動力其ノ他	備考
富興泉	縣城東大街	光緒三十三年八月	四,000元	獨資	滿洲國	三四	製	二,100,000枚	二,400元	一	蒸氣	
巨源益	八面城	民國三年四月	六,000合	獨資	滿洲國	二八	製	六,000,000枚	八,900元	一	蒸氣	
天享益	縣城西大街	大同元年	一,000	獨資	本國籍	一六	製	六,000,000枚	八,500元	一	蒸氣	
同泰祥	縣城西大街	民國元年二月	七,000	獨資	本國籍	六五	製	四,000,000枚	五,000元	一	蒸氣	
廣合益	大窪	大同元年十月	二,000	獨資	本國籍	二八	製	二,000,000枚	一,900元	一	蒸氣	
廣源通	金家屯	民國六年一月	二,500合	獨資	本國籍	三〇	製	二,500,000枚	三,100元	一	蒸氣	
公聚合	通江口	民國九年一月	三,000合	獨資	本國籍	二四	製	三,000,000枚	三,100元	一	蒸氣	
金生泉	馬仲河	民國十三年一月	三,000株	獨資	本國籍	一六	製	三,000,000枚	六,111元	一	蒸氣	
同史泉	昌圖縣	民國十八年二月	一五,000合	獨資	本國籍	二六	製	一五,000,000枚	一〇,700元	一	蒸氣	

豆源益	義興和	廣源通	東興義	廣昌和	巨盛泰	同泰祥	巨增合
八面城	光緒二十三年	民國十六年	民國十八年	民國十八年	民國十八年	民國十六年	民國十六年
一,000	二,000	二,000	二,000	五,000	六,000	七,000	一六,000
一五	一五	一五	一七	一七	二九	一九	二〇
豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆	豆
三,000,000	三,000,000	三,000,000	三,000,000	三,000,000	三,000,000	三,000,000	三,000,000
一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一

第三節 電氣事業

電氣事業

地名	會社名	設立年月日	資本金	出資方法	發電容量	供給燈數	高壓	低壓	原動力	備考
北安鎮	滿電北安鎮發電所	大同二年十二月		日滿合辦	一〇馬力	三,000燈	三,500V	三〇V	ディーゼルエンジン	
克山	克山益泰電燈公司	民國十六年	五,000	滿人獨資	七馬力	二,800	三,300		スチームタービン	
齊哈爾	滿洲電氣株式會社 齊哈爾電氣株式會社 齊哈爾電氣支店	宣統元年		日滿合辦	一,七五KW	三,500	五,000V	三〇V	蒸氣タービン	康德元年十二月一日附 ラ以テ新會社ニ編入サ

一五馬力半
二〇馬力

二六六

100,000
50,000

從量燈料金表(齊々哈爾市)

使用電量	一キロワット時料金、國幣圓
二〇〇キロワット時以下ノ分	二八
二〇〇キロワット時超過四〇〇キロワット時迄ノ分	二五
四〇〇キロワット時超過六〇〇キロワット時迄ノ分	二三
六〇〇キロワット時超過八〇〇キロワット時迄ノ分	一九
八〇〇キロワット時以上ノ分	一六

第四章 金融 物價 勞働

金融 概況

- 一 特産對歐輸出杜絶狀態
- 二 市價の大正四年以來の慘落
- 三 之に伴ふ農村の疲弊

等環境の暗影深く、特産界極度の不振を示し、從て金融界の情勢は特産資金煥起の謂ふべきものなく、輸出資金の動きも又微弱を示すに過ぎずして、全般的に資金の移動不活潑を極めたるも、内にありては土木建築方面に對する需要獨り群を抜き居るやに見受けらる、然し常路沿線の如く之が絶對的勢力を占むる邦人に對する金融機關少なき爲め、直接斯る情勢あるも何等各金融機關の積極的活動を見ず、從て之等に對する金融は總て南滿都市の機關に依て充たされ居る如き變則狀態の下に在り、他方農村金融に就ては從來何等の機關なく普通銀行等に於ても信用少なき農村に對する小額資金の貸出を全然爲さざる爲め、農民が窮迫の極に達し、

- 1 收穫期迄の生活費
- 2 春耕に要する必要資金

を有せざる場合に於ても、此の必要資金の融通を受ける事を得ず。僅に舊來の慣行に依り

- 1 糧 棧
- 2 個人關係

にて、幾分の融通を受け得んとするも、昨年來の特産界不況の「ドン底」に蹴落されて居る以上、糧秣に於ても其の貸出の資力なく、又有りとするも警戒し、其の貸付を容易にするものに非ず。個人關係に依るも特殊なるものを除き、殆ど前者同様の結果となるべく、農業資金の融通は文字通の杜絶状態に立ち至りたり。

依て中央政府にては農村救済の融通方法として

春耕貸款を中銀をして低利に融通せしめ（昨年八分、本年七分）更に金融合作社を政府の援助の下に各地方に設置、農民の常設的金融機關たらしめたり。因て當今に於ける金融機關としては、稍々整備され従前の如き質屋、錢舗を唯一の金融對照とする時代を完全に脱離するに至りたり。

國幣流通狀態

大同元年七月、滿洲中央銀行の國幣發行以來最近に至る迄は國幣に對する國民の信賴湧かず、大同二年に際しては同貨の非常なる暴落を來し交通銀行の如きは其の機に乘し約二〇〇萬元の銀洋を買入れ、國幣の手持を極力手拂一般國民も國幣の所持を喜ばず、其の反映は國幣の預金も少く、洮南の如き人口六萬に近き都市たるに不拘、全市の預金總額僅に一〇萬元を上下する程度にて、日本の同級都市の十分の一にも相當せざる窮弱なる状態にありたり。

然るに其の後に於ては漸次滿洲國の強化と、國民の新政府に對する認識の深まるに従ひ、國幣の相場も固定し、一般民衆の國幣に對する信用も増加するに至りたり。

今北安鎮より四平街に至る間に於ける當路沿線、中銀十四支行に於て受拂たる國幣差引發行超過額を示せば次の通りしにて、大約二、〇〇〇萬元の國幣が當路沿線を中心として流通し居るものと推定さる。

流通高（自大同二年五月
至康德元年七月）

行名	種類	百圓券	拾圓券	五圓券	壹圓券	五角券	計
四平街支行		五、五五、九〇〇	二、三三、一六、〇七〇	七〇八、七九〇	四三、四、一九六	一七、二九七	一、〇七五、五四七
洮南		二八五、二〇〇	一七七、六〇〇	一三三、二一五	二四、九〇一	一〇、一四四	六三〇、〇六〇
昌圖		一三七、〇〇〇	一四七、九二〇	四四、九八五	四八、六二八	四、三六七	一九五、六七四
八面城		四一、二〇〇	一〇五、三三〇	二九、一五五	三六一	九五三	一七六、一六七
遼源		一七、六〇〇	一三六、五三〇	二〇、八四五	四二、三六九	三九〇	一四〇、八四四
洮安		四一、〇〇〇	八、〇九〇	一一、二八〇	一八、二〇五	二、六〇八	四、八一七
開通辦事處		三七、五〇〇	四一、九六〇	三、五二五	一四、三三四	二、一九三	六六、四五八
昂昂溪		一、〇〇〇	五七、五九〇	三、九四五	一〇、四四一	二、〇五〇	五二、一四三
泰來		三〇、六〇〇	一七八、六九〇	九三、六二五	一一、九四七	三、〇三二	三五七、六九四
克山		二五、〇〇〇	五〇、〇〇〇	一五、〇〇〇	一〇、〇〇〇	二、〇〇〇	二〇、〇〇〇
泰安		五〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇
訥河		一、〇四〇、〇〇〇	一三、一六、〇〇〇	八五一、〇〇〇	二、四九三、〇〇〇	一七四、〇〇〇	一七、六七四、〇〇〇
齊齊哈爾							一七、三四一、七九二

摘要

太字 還收超過
克山以下ハ六月末ヨリ發行還收開始

二硬貨（一角五分、一角五厘合計高）

行名	種類	計
四平街	硬貨	一四九、八〇〇
洮南	硬貨	五五、九〇〇
昌圖	硬貨	七五、六五〇
開通	硬貨	一〇、〇〇〇
昂昂溪	硬貨	一〇、〇〇〇
泰來	硬貨	一〇、〇〇〇
克山	硬貨	一〇、〇〇〇
泰安	硬貨	一〇、〇〇〇
訥河	硬貨	一〇、〇〇〇
齊齊哈爾	硬貨	一〇、〇〇〇
合計	硬貨	四七、五〇〇

- 三 中國、交通兩銀行齊齊哈爾支店
- 四 哈爾濱鮮銀齊齊哈爾出張所
- 五 齊齊哈爾信託會社
- 六 國際支店及其の他糧棧

等の諸機關在りて、夫々の方面に於て活動を續け、つつあるも、滿洲國人側は事變後の今日戰匪、水災の打撃未だ充分に回復せざる爲めと、本年度に於ける北滿特産物の相場下落に因る農民の疲弊の極に在る關係上、一般經濟界は沈衰の極に在り依て金融界に於ける重要使命を果すべき上記各機關も何等華々しき活躍を見ず。日本人側に就ては、鮮銀有るも小商人に對する貸出等は喜ばず、然るに當地に於ける商人は巨大なる資本を有する者少く、其の大部分は小商人に類する如き者多き爲め同行の當地方進出に對し、一般邦人は大した利益を感じ居らず。

然らば邦人側唯一の頼りとする齊齊哈爾信託會社は。如何にと謂ふに、資本金拾萬圓の四分の一拂込を以て開業せるも、資本金の小額なると、貸付金の固定等の爲め之を利用する者殆ど無き状態にて、一般邦商は何等かの方法に依り他の金融機關を設置し、其の地盤を鞏固にせむと有力者間に依り考究の歩を進められつつあり

銀行

(康德元年度)

銀行名	所在地	設立時	代表者	資本金	預金	貸付金	手元有高	國籍	備考
中國銀行支店	南大街八號	民國三年六月	劉鍾泉	10萬元	1,374,250元	3,400,000元		中國	
交通銀行支店	南大街言號	民國四年八月	米致祥	10萬元	86,320元	3,010,190元		中國	
中央銀行					國幣10,000,000元	國幣3,191,330元		滿洲國	
齊齊哈爾支行					國幣3,000,000元	國幣3,100,000元		滿洲國	
朝鮮銀行齊齊出張所					國幣2,850,000元	國幣1,417,700元		日本	

口當舖

(康德元年度)

商號	代表者	資本	本金	貸出額
廣義	賈玉貴	賈三堂	10,000元	245,000元
義利	王銘	王三堂	8,500元	41,000元
義濟	唐錫	唐錫	18,000元	7,166元
天寶	果壽	果壽	16,000元	42,196元
世隆	郝佩	郝佩	19,000元	35,270元
萬泰	范憲	范憲	15,000元	28,000元
裕民	劉占	劉占	15,000元	37,000元
德利	岳占	岳占	15,000元	11,631元
新德	岳占	岳占	11,500元	19,000元
民生	岳占	岳占	11,000元	26,780元
德生	岳占	岳占	7,000元	48,144元

泰來縣

中央銀行泰來支行は、大同二年三月十五日泰來縣域に新設せられたるも、主として引續き貸金の回収乃至は圓貨の兌換に全力を注ぎつゝある現狀にて、金融機關として機能を充分に發揮し居らず。

因つて一般民衆は送金は郵政局、其の他に資金の融通は、個人間又は糧棧油房、國際等に受けつゝあるも、一般に農産物の暴落に依る農民の窮迫は其の支拂能力なく貸出を極度に警戒し居り、殆ど金融の途は杜絶せるの感あり

銀行 (康德元年度)

金融機關及業務狀態

企業名 中央銀行泰來支行

第四章 金融、物價、勞働

設立年月日 大同二年三月十五日

代表者 王鴻壽

預金 八五、〇〇〇元

貸付金 二一三、〇〇〇元

手元有高 四、三三四・六八

鑛 東 縣

當縣に於ける資金融通は銀行、錢舖等の金融機關を縣内に有せざるを以て總て、棧糧燒鍋其の他資産階級の手に依りて行はれつつあるも、之等階級の經濟も一般特産物市場の不況に災され、貸付を極度に手控へ居る爲め資金は固定し其の流通圓滑ならず農、工、商各階級共極度の資金難に陥り相當苦慮の境地に在り。

洮 安 縣

錢舖、銀行を有せざる爲め一般農民は資産者或は糧棧より、糧棧の如きは洮南城市に於ける中央銀行支行交通銀行支行、或は國際四平街支店、洮南出張所等より融通を受け又送金其他に就ては郵便局又は交通、中央銀行兩支行を利用するを常態とす乍然鐵道工事の進捗に従ひ人口の増加と交通の繁激は、當然金融業の進出を齎すものと見られて居る。

洮 南 縣

本縣に於ては金融機關として

中央銀行洮南支行

交通銀行

國際運輸洮南出張所

等在りて、資金の融通、代金支拂の代辦、預金の取扱等を爲す關係上、當地は附近各縣の金融の中樞地として重要な地位を

占め、一般住民は之が非常なる恩澤に浴し居れり、又此の外に野戰郵便局ありて、軍隊の資金の送受一般在留邦人の送金、爲の替拂戻等の便宜あり、邦人間の金融殊に爲替方面に關し、極めて重大なる役割を演じつつあり。

1 銀行

(單位圓幣)

(康德元年度)

銀行名	所在地	設立時	代表者	資本金	預金	貸付金	借入金	手元有高	國籍	備考
滿洲中央銀行	興隆街	大同元年七月一日	汲惠然	五,000,000	九,500,000	六七,500,000	三三,000,000		滿洲國	
交通銀行	"	民國十三年四月一日	潘祖丞	10,000,000	1,000,000	10,000,000	三三,000,000		中華民國	
正隆銀行	"	大同二年		三,000,000	ナシ	10,000,000	ナシ		日本	

口 當 舖

(康德元年度)

商 號	代 表 者	資 本 金	貸 出 額
惠濟當	張夢九	五〇,〇〇〇元	八一,二八二・八〇元
公濟當	祁廣順	一〇,〇〇〇元	一六八,七一五・〇〇
雲隆當	王國樂	七,五〇〇元	三五,九七七・〇〇
東昌當	杜澤民	七,五〇〇元	二七,九九九・九〇

三 其 他

國際等に於ても確實なる擔保の提供を求めて貸出を爲しつゝ、あり其の貸出額二〇、〇〇〇圓見當なり。

開 通 縣

本縣内に於ける純然たる金融機關は、中央銀行開通辦事處のみにて、他は國際或は糧棧其の他の各補助的機關が夫々與へられたる方面に於て微温的に金融に關する業務の一半を果す程度にて其の活動力極めて低位に在り、即ち中央銀行辦事處の現在貸

出額(累計)七〇、〇〇〇元手元有高僅に一〇、〇〇〇元なる貧弱なる状態は、當縣内に於ける金融界の全貌を示すに充分なり又金融界の如斯貧弱なる状態は、本期に於ける特産物相場の未曾有の暴落の爲め糧棧、油坊方面にても積極的買付を爲さざるに依り、資金を必要とせず、反對に各金融關係者に於ても特産物のデリ落は、此の方面への投資に必然的に危険を伴ふ爲め、全然貸付を手控へ、斯くて金融界の沈滞を招來したる事實も其の主要原因を成せること論を俟たず。即ち國際の如きは國積を抵當とする貸付は極力之を避け、開通營業所にては全然之を爲さず。

銀行

(康德元年度)

銀行名	所在地	設立時	代表者	資本金	預金	貸付金	借入金	手元有高	國籍	備考
滿洲中央銀行 開通辦事處 和盛長匯兌莊	開通縣	大同二年一月四日	范傳觀	元	發行總行	七〇,〇〇〇元	無	一〇,〇〇〇元	滿洲國	
		大同二年七月	李義蕃	三〇,〇〇〇元						

本莊へ向各地送金業務ヲ掌ル機關ニシテ相當手續ヲ營業ヲ爲シツアリ

遼源縣

極めて低位なる經濟を營み居る鄭家屯を金融の中心地と爲す關係上、斯界に於ては何等見るべきものなく、僅に金融機關としては

中央銀行遼源支行
國際運輸鄭家屯營業所

- 一 中央銀行は主として一般商工業者中確實なる筋に、
- 二 國際は糧棧方面に對し國積特産物を抵當とする貸付を爲す、

三 錢莊、錢舖、當舖は滿洲國下層階級の金融機關として缺くべからざる存在なり、北滿地方は殊に多く重要な機關にして輕視するを得ず。

四 糧棧は主として農民に對する金融及倉庫機關として不動産貸付、委託穀物の抵當貸を爲す。此の外送金機關として滙兌莊、郵政局ありて他金融機關の業務の一部たる爲替方面の補助的職務を辨ず。乍然本年度に於ては農民收入の根源を爲す、農産物の海外に於ける需要激減を主因として生じたる相場暴落の爲め、農民は其の收入を半減せられ購買能力を失ひ、一般商賈は唯一の得意先たる農民が斯かる以上商業不振を極め特産商も亦逆轉にて、商談少く、且つ先を見越しての買付は非常なる危険を伴ふを以て之を警戒し、容易に動かざるに依り、借手貸方共全然働きを起さず爲めに金融界は沈滞を極め國際の如きは國積抵當の貸付を殆ど爲さざる状態に在り。中央銀行に於て僅か五、四〇〇元程度の貸付を爲し居るに不過(貸付豫算額七五、四〇〇元)其他糧棧、錢莊、當舖に於ける貸付も一〇〇、〇〇〇元見當を出でざるものと稱せらる(昨年度貸出推定一四〇、〇〇〇元)

1 銀行

(康德元年度)

銀行名	所在地	設立時	代表者	資本金	預金	貸付金	借入金	手元有高	國籍	備考
滿洲中央銀行 遼陽支行 慶會銀號	遼源	大同元年七月	王永豐	三〇,〇〇〇元	一三,三三三元	四九,七六六元	無	三三,四〇七元	滿洲	
		民國五年四月	國務院管理	三三〇,〇〇〇元		三三〇,〇〇〇元				

口當舖

(康德元年度)

當舖名	代表者	資本	貸出額
公濟當舖	遼源	一一〇,〇〇〇元	一三〇,〇〇〇元
富備當舖	遼源	七五,〇〇〇元	七五,〇〇〇元

梨樹縣

縣内及四平街滿鐵附屬地内に於ける金融機關としては

日本側

- 朝鮮銀行四平街支店(四平街附屬地)
- 正隆銀行四平街支店(四平街附屬地)
- 國際運輸四平街支店(四平街附屬地)
- 四平街輸入組合(四平街附屬地)
- 四平街金融組合關東廳關係のもの(四平街附屬地)
- 滿洲國側
- 中央銀行四平街支店(四平街附屬地)
- 交通銀行貸出其他の營業を爲し居らず(四平街附屬地)
- 梨樹縣地方儲蓄會(梨樹縣城)

等の金融中樞機關を有する外、糧棧、錢舖、當舖等も亦側面より之を助けて金融界の圓滑なる活動を爲しつつあり。而して各階級の金融系統を示せば

- 農民 主として 糧棧
- 糧棧 正隆、朝鮮、中央支行、國際儲蓄會、輸入組合、金融組合
- 一般商人 當舖
- 下層階級

尙各階級の送金方面の業務には錢舖、郵政局亦相當重要なる役割を演ず。

1 四平街銀行

(康德元年度)

銀行名	所在地	設立時	代表者	資本金	預金	貸付金	借入金	手元有高	國籍	備考
滿洲中央銀行	四平街	大同元年七月一日	董桂軒	二、八〇〇、〇〇〇(金)	三、八〇〇、〇〇〇	四、〇〇〇、〇〇〇	無	一、二〇〇、〇〇〇	滿洲	
四平街支行	"	大正八年十一月一日	二木未雄	一、〇〇〇、〇〇〇(銀)	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇			日本	
四平街支行	"	昭和二年二月一日	桂三	二〇〇、〇〇〇(銀)	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇			"	
四平街支行	"	昭和二一年一月一日	桑原勝雪	七、〇〇〇(銀)	六、八〇〇、〇〇〇	六、七〇〇、〇〇〇			"	
梨樹縣儲蓄會	梨樹縣城	民國元年	孟仲文	一、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇	三、七〇〇、〇〇〇	元、五〇〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	滿洲	

ロ 四平街當舖

(康德元年度)

當舖名	代表者	資本金	貸出額
恒記當舖	孟仲文	五、〇〇〇元	二七、五〇〇元

農 業

幼稚なる經濟組織の下に有る關係上金融方面に於ける活動は、中央銀行昌圖、八面城支行二行あり、純然たる金融機關として其の本來の使命を遂行し居り。

他は質屋、糧棧等が前者は一般庶民階級、後者は中小農民關係の金融機關として側面より極めて幼稚低級なる方法に依り、活動を小範圍に爲しつつあるに止る。

品名	品質形狀	單位	金額
大 米	切 糠	一 袋	一 〇 〇
日 南	粉 天	一 斗	一 〇 〇
寒 米	粉 粉	一 斗	一 〇 〇
白 片	粉 粉	一 斗	一 〇 〇
モ 玉	粉 粉	一 斗	一 〇 〇
ソ 洗	粉 粉	一 斗	一 〇 〇
小 豆	粉 粉	一 斗	一 〇 〇
ウ 飯	粉 粉	一 斗	一 〇 〇
湯 豆	粉 粉	一 斗	一 〇 〇
龜 茶	粉 粉	一 斗	一 〇 〇
同 子	粉 粉	一 斗	一 〇 〇
神 東	粉 粉	一 斗	一 〇 〇
齊 齊 哈 爾 滿 人	粉 粉	一 斗	一 〇 〇

(康德元年六月九日調)

品名	品質形狀	單位	金額
昂 布	太 等	百 疋	三 〇 〇
明 子	子 子	一 疋	一 〇 〇
竹 子	子 子	一 疋	一 〇 〇
松 子	子 子	一 疋	一 〇 〇
ふ 子	子 子	一 疋	一 〇 〇
白 子	子 子	一 疋	一 〇 〇
松 子	子 子	一 疋	一 〇 〇
最 子	子 子	一 疋	一 〇 〇
同 子	子 子	一 疋	一 〇 〇
赤 子	子 子	一 疋	一 〇 〇
サ 子	子 子	一 疋	一 〇 〇
ハ 子	子 子	一 疋	一 〇 〇
新 子	子 子	一 疋	一 〇 〇
若 子	子 子	一 疋	一 〇 〇
ナ 子	子 子	一 疋	一 〇 〇
出 子	子 子	一 疋	一 〇 〇
ア 子	子 子	一 疋	一 〇 〇
切 子	子 子	一 疋	一 〇 〇

齊北平齊沿線經濟事情

理牙牙 / 睛腿禮膠方割白藍白藍棉電洋洋洋煤席小飯 / 茶落萃

髮刷	服	綫	帶	皮口細細洋洋	險	花
	呢	襪				
料子粉	子子鞋鞋鞋	子布線線線	燈火燭油	子盆碗	葉生果	
三	美白雙寬皮太牛日駝月	透滿約招老美切	方席五二七	瓏	龍奇龍	倭
等	人玉喜 陽皮本墨鳥	洲東財雙	塔產燈牌人字込	那	井峰	產錦
	下小袋	中	中	中	中	下
			一〇ヶ入			
			一〇ワット			

回本袋 / 個 / 雙 / 尺 / 兩斤燈包袋斤斤張 / 個 / 斤

二〇〇八 一四〇〇 二〇〇〇 一五〇〇 六五〇 七三五 〇九五 一〇六 〇〇七 五〇〇 一八〇 〇五五 一四一 一五〇 三〇〇 九〇〇 三三五 一〇〇 二四〇 一六〇 一五五

白水 / 葉香燒肥醋面大醬香豆鹽鹹干豆粉 / / / / / / / 蔬綠

糖糖	煙煙酒油	城油油油油	業	菜
字A	洗吉雙滿	卜	豆	條
字字	南林鶴洲	內	芽	菜
	字字煙煙牌產	門		
	一五等品(中)	中	中	粗
			普	中

斤個 / 斤斤 / 斤斤斤個 / 斤斗

二五八 二四〇 五三〇 四〇五 〇四三 八〇〇 五〇四 一〇五 四一五 五〇〇 一〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇

品名	銘柄	品質形狀	單位	金額
豚石燐香醬芹豆水黑砂麵高小大				
肉油寸油油 油糖糖糖粉粟米米			一斤箱箱 // // // // // 斤袋 // // 一斗	七 二五〇五 一〇六〇〇 一〇六〇〇 一〇七二二 一〇一五〇〇 三〇一五〇〇 一〇五三〇〇 一〇五三〇〇 一〇五三〇〇

開通縣城

品名	銘柄	品質形狀	單位	金額
「ネ布膠」ス賀「鹿				
ク // タ // イ		皮 // 襪帶甲	一本 // 一足 // 一足 // 一個	二〇五〇〇 六〇〇〇〇 二〇四〇〇 一〇二五〇 一〇七〇〇 一〇四五〇 一〇九〇〇 一〇一三〇

(康德元年六月調)

品名	銘柄	品質形狀	單位	金額
魔バス石ハクククク金レ「革」蝶割「塵」コ茶「銚」 // 皿				
法ンモ鹼 石洗 粉 粉 粉 粉 油 ム			一個本 // 一個袋 // // // // 瓶 // 一足 // 一木箱 // 一東 // 一箇組 // 一本 // 一枚	二〇一〇〇 一〇二〇〇 一〇三〇〇 一〇四〇〇 一〇五〇〇 一〇六〇〇 一〇七〇〇 一〇八〇〇 一〇九〇〇 一〇一〇〇 一〇二〇〇 一〇三〇〇 一〇四〇〇 一〇五〇〇 一〇六〇〇 一〇七〇〇 一〇八〇〇 一〇九〇〇

年	月	日
1951	1	1
1951	1	2
1951	1	3
1951	1	4
1951	1	5
1951	1	6
1951	1	7
1951	1	8
1951	1	9
1951	1	10
1951	1	11
1951	1	12
1951	2	1
1951	2	2
1951	2	3
1951	2	4
1951	2	5
1951	2	6
1951	2	7
1951	2	8
1951	2	9
1951	2	10
1951	2	11
1951	2	12
1951	3	1
1951	3	2
1951	3	3
1951	3	4
1951	3	5
1951	3	6
1951	3	7
1951	3	8
1951	3	9
1951	3	10
1951	3	11
1951	3	12
1951	4	1
1951	4	2
1951	4	3
1951	4	4
1951	4	5
1951	4	6
1951	4	7
1951	4	8
1951	4	9
1951	4	10
1951	4	11
1951	4	12
1951	5	1
1951	5	2
1951	5	3
1951	5	4
1951	5	5
1951	5	6
1951	5	7
1951	5	8
1951	5	9
1951	5	10
1951	5	11
1951	5	12
1951	6	1
1951	6	2
1951	6	3
1951	6	4
1951	6	5
1951	6	6
1951	6	7
1951	6	8
1951	6	9
1951	6	10
1951	6	11
1951	6	12
1951	7	1
1951	7	2
1951	7	3
1951	7	4
1951	7	5
1951	7	6
1951	7	7
1951	7	8
1951	7	9
1951	7	10
1951	7	11
1951	7	12
1951	8	1
1951	8	2
1951	8	3
1951	8	4
1951	8	5
1951	8	6
1951	8	7
1951	8	8
1951	8	9
1951	8	10
1951	8	11
1951	8	12
1951	9	1
1951	9	2
1951	9	3
1951	9	4
1951	9	5
1951	9	6
1951	9	7
1951	9	8
1951	9	9
1951	9	10
1951	9	11
1951	9	12
1951	10	1
1951	10	2
1951	10	3
1951	10	4
1951	10	5
1951	10	6
1951	10	7
1951	10	8
1951	10	9
1951	10	10
1951	10	11
1951	10	12
1951	11	1
1951	11	2
1951	11	3
1951	11	4
1951	11	5
1951	11	6
1951	11	7
1951	11	8
1951	11	9
1951	11	10
1951	11	11
1951	11	12
1951	12	1
1951	12	2
1951	12	3
1951	12	4
1951	12	5
1951	12	6
1951	12	7
1951	12	8
1951	12	9
1951	12	10
1951	12	11
1951	12	12

勞
動
貨
銀

第
三
節
勞
動
者

布
長
靴靴靴

齊北平齊沿線經濟事情

三十一

一〇〇
一〇七
二〇四

ハ 國籍

山東省人大部分を占め之に次くは河北、奉天省人等なり。

ニ 能率

山東、河北等よりの苦力其の能率高く土著の者は其の反對に能率低し。

ホ 思想

一般に善良、乍然苦力の爭奪戰等を開始する場合は苦力に悪化を及ぼすこと甚し。

ヘ 衛生

殆ど原始に近き生活を爲すも其の罹病率極めて低し。

ト 募集費用

一人に付 前 貸 金 國幣 三圓〇〇—一〇、〇〇

直接少募集費 五、〇〇—八、〇〇

監督費 四、〇〇—六、〇〇

生活費

地域的或は其の従事する部門の如何等に依りて其の生活狀態を異にするも一般に其の生活狀態の程度は低く殆ど原始的に近きものなり。

今國際其の他労働者を多く使用する箇所に付之を調査するに次の如き數字を示す。

イ 國際調査

1 齊齊哈爾

一日の生活費 五角見當

白 麵 二角五分
油 鹽 五分
肉、野 菜 一角
其他嗜好品費 一角

2 四平街

一箇月の生活費全費

A 食住費

四元九角九分

大 米 六角四分

高 粱 一元五角八分

白 麵 三角五分

調味嗜好料 四角九分

薪炭水道、家賃 一元一角二分

其他ストーヴ 五分

煙突家具 四元一角四分

B 雜費

四元一角四分

理 髮 二角

煙 草 一元二角

石 鹼 一角

洗濯石鹼 一角

牙 粉 六分

靴修理	靴衣服修理	腰帶子	手袋	腿帶子	靴下	地下足袋	靴	夜具	帽	外室衣	其他作業衣	作業	外出夏衣	C 被服費	酒肴	手拭	入浴	牙刷	牙子
一角	五分	四分	三分	三角五分	四角	三角三分	一角七分	九分	一角七分	一角五分	二角	一角三分	二元三角一分	一元八角	五分	六角	三分	三分	三分

享樂其他 五元一角
 性費 三元
 看劇 五角
 交際費 七角
 藥品治療 一角
 合計 一六元五角四分

苦力移動狀態

四月分

(康德元年四月二日)

區分	發送請求者	發送	著	輸送	小計	人員合計
東亞土木公司	克齊白奉	齊齊城	北懷齊	安	一、五〇〇	一、七七六
嶺谷組	奉	天	懷遠	安	二、五〇五	三、八二五
福井高梨組	大	連	懷遠	鎮	一、四〇七	一、四〇七
岡組	齊四泰	齊平哈	大白懷江	城遠	四〇〇	一、〇五〇
		爾街來	興子鎮橋		一〇〇	
					三〇〇	
					一〇〇	
					三〇〇	
					一〇〇	

其他	三田組	滿洲電氣公司	義合祥	福井高梨組	岡組
懷白洮茂三 遠城江家平 鑛子南林口	大奉石 橋天	大齊連	齊哈爾	洮南	通懷遠 遼鑛
江北懷白 遠城平遠 橋安鑛子	白齊城 子爾	懷遠	訥河	懷遠	鄒北家 屯安
七〇 二一 三三 三一 二八 七五 二四 五二 一〇 一三 二〇 八九 二一 四一 三〇 四〇 六五	五三 二三	五九	一一〇	一一三	四〇〇 一一〇 一一三
一、五七五	七六	五九	一一〇	一一三	五二〇

大倉組	高岡組	吉川組	神谷組	間組	荒井組	北滿公司	橋本組	福昌公司
洮錦 南縣	奉天 天	鄒家屯 天	奉天 天	大齊泰克訥火營 齊哈 連爾安山河連口	四奉安 平 街天東	克山	鄭茂屯林	泰訥昂齊 昂哈 來河溪爾
泰洮 來南	白城子	四齊平哈 街爾	懷北遠 鑛安	白城子 安	北	北	四平街	北家 街
一三四〇〇 一五〇〇	六二〇	七七三	一、一六八 一一八	四五〇 一一〇 三三一 三〇〇 六六九 三〇〇	一三三 三〇〇 三三〇	八五	二九八 七	一七四 二七 一〇〇 三三
四九〇	六二〇	一〇〇	一、二八六	一、七〇〇	六三三	八五	一〇七	八四四

其他	高岡組	平川組	福昌公司	間組	礪谷組
" 四茂泰齊奉許泰克齊大新泰 "	奉	開四鄭	齊昂	齊大	奉
平 家 哈		平 家 哈	齊 昂 哈	齊 大 哈	
街林安爾天屯安山爾連京來	天	通街屯	爾溪	爾連	天
洮通白 " 寧洮 " " 北泰 " 白大齊	"	" " 白	" "	" 北	懷北
城 城 哈		城		遠	
南遼子 年南 安安 子興爾		子		安	鎮安
四三三三三三三三三三三三三三三三	二〇〇	一〇〇 一〇〇 二〇〇	四八 六〇	二一 四二〇	五二五 三五
	二〇〇	四〇〇	一〇八	四四一	五二五

一、一三一

東亞土木公司	吉川組	荒井組	岡組	大倉組	發送請求者區分	六月分	合計
洮北	大 "	四大	懷大	齊江錦	發	(五	克 " 泰 " " 齊齊
南安	連	街連	鎮連	爾橋縣	驛	月	山 安 爾爾
懷齊	" 懷	洮北	洮北	昂泰北	著	分)	北寧北北訥泰白
遠 哈	遠	南安	南安	溪來安	驛		城
鎮爾	鎮	南安	南安	溪來安			安年安安河安子
五〇 二六	二二三	六八 五〇〇	一四〇 三五〇	二四 四二 八四〇	輸送小計	一一、八四二	一〇五 五七 八一 一〇一 六二 四七 四七
一一一	一四五	五六八	四九〇	九〇六	人員合計		

福井高梨組	福昌公司	神谷組	建設事務所	北滿公司	輸送請求者	區分
洮奉	齊鄭葛	白奉	北	寧白洮齊	發	譯
南天	爾屯廟	子天	安	家子南爾	著	譯
葛白	奉齊白	葛白	齊	洮寧葛	著	譯
根城	齊城	根城	齊	洮寧葛	著	譯
廟子	天爾子	廟子	爾	南家廟	著	譯
四三	二〇	一四五	一八一	二七〇	二〇〇	三四六
四三	五〇	八	一六一	二七〇	一〇〇	一〇〇
二七	二二五	二四九	二七〇	七四六		
人員合計						

三三五

八月分

合計	區分
七	北白、奉洮四白
月	城 平城
分	安子 天南街子
	齊葛北洮懷齊平
	根 遠 安
	爾廟安南鎮爾鎮
二、四六二	
一〇一	一九六
二四	二〇七
一〇八	七三
三一	三〇
二〇	四一
三三	四一
四三	四一
二〇	九九
三〇	二〇
九六	二〇
一三〇	二〇
二九	二〇
三三	二〇

其他	義合祥	國際公司	福昌公司	輸送請求者	區分	七月分	合計
齊鄭齊、奉訥大北克	齊	洮齊	齊奉大	發	譯	北齊	北齊
家哈	哈	哈	哈	著	譯	安爾	安爾
爾屯爾 天河連安山	爾	南爾	爾天連	著	譯	克懷	克懷
白寧昂四北白開北齊懷北	昂	江	北齊	著	譯	遠	遠
城 昂平 城 遠 哈	哈	橋	安爾	著	譯	山鎮	山鎮
子年溪街安子通安爾鎮安	溪	橋	安爾	著	譯		
二二	一三〇	五二	一〇〇	輸送小計		五、〇二五	一〇二
二九	三〇	四二	二五〇	人員合計		二六	二六
三三	二〇	九四	六二〇				
一、五二八							

三三四

種	目	作	付	面積	收	穫	高	備	考
納河縣 (實業部調)	其								
	陸								
水									
小									
王									
高									
其									
大									
他									
計									
雜									
穀									
稻									
麥									
黍									
梁									
類									
豆									
計									
雜									
穀									
稻									
麥									
黍									
梁									
類									
豆									

(康德元年度現在)

種	目	作	付	面積	收	穫	高	備	考
龍江縣 (實業部調)	其								
	陸								
水									
小									
王									
高									
其									
大									
他									
計									
雜									
穀									
稻									
麥									
黍									
梁									
類									
豆									
計									
雜									
穀									
稻									
麥									
黍									
梁									
類									
豆									

(康德元年度現在)

種	目	作	付	面積	收	穫	高	備	考
泰來縣 (實業部調)	其								
	陸								
水									
小									
王									
高									
其									
大									
他									
計									
雜									
穀									
稻									
麥									
黍									
梁									
類									
豆									
計									
雜									
穀									
稻									
麥									
黍									
梁									
類									
豆									

(康德元年度現在)

種	目	作	付	面積	收	穫	高	備	考
鎮東縣 (實業部調)	其								
	陸								
水									
小									
王									
高									
其									
大									
他									
計									
雜									
穀									
稻									
麥									
黍									
梁									
類									
豆									
計									
雜									
穀									
稻									
麥									
黍									
梁									
類									
豆									

(康德元年度現在)

種目	面積	收穫	備考
大豆	二、六七〇	二八、七六七	
高粱	四、二〇〇	七〇五	
其他	一、八七〇	四三、〇〇八	
蜀粟	五、七八〇	二〇、三三二	
麥	六、二二〇	三三、一一〇	
黍	六〇〇	一、二〇〇	
小	五〇	八〇	
水	二、九八三	二、八四六	
陸	四〇、四九三	一一九、〇四八	
其他			
計			

洮安縣 (實業部調)

(康德元年度現在)

種目	面積	收穫	備考
大豆	二〇、八〇〇	三九、五二〇	
高粱	四、八〇〇	六、五六〇	
其他	二八、九二〇	六九、四〇八	
蜀粟	二六、〇〇〇	五四、六〇〇	
麥	九、五〇〇	二一、八五〇	
黍	九〇〇	九九〇	
小			
水	一〇、九〇〇	二二、七六〇	
陸	一〇、八二〇	二二、六八八	
其他			
計			

洮南縣 (實業部調)

(康德元年度現在)

種目	面積	收穫	備考
大豆	一一、〇九二	五四、二六〇	
高粱	二、七八四	一〇、三二六	
其他	一七、六五五	一一五、三〇三	
蜀粟	一六、〇八七	一〇、八六三	
麥	六、九一五	五五、五八六	
黍	七八六	二、六一〇	
小	八三三	二〇、八九八	
水	五、五一四	二八、七九六	
陸	六、六六六	二九、五四二	
其他			
計			

開通縣 (實業部調)

(康德元年度現在)

種目	面積	收穫	備考
大豆	一〇、四〇〇	七、二九五	
高粱	一、四九五	一、〇七〇	
其他	七、五八五	八、四六九	
蜀粟	九、五二一	一〇、一二八	
麥	三、五六五	五、三四七	
黍			
小			
水			
陸	二、三四一	一、八四四	
其他	三四、九〇七	三四、一五三	
計			

遼源縣 (實業部調)

種	目	作	付	面	積	收	穫	高	備	考
大豆	他			一四、九五〇	响		二二、一九四	石		
高粱	他			七、四〇〇	响		一三、二四〇	石		
玉米	他			三六、二〇〇	响		九〇、八七〇	石		
小麦	他			一六、五〇〇	响		三〇、四五〇	石		
水稻	他			八、一〇〇	响		一三、六八〇	石		
其他	計			七五〇	响		一、五二五	石		
雜穀	計			二一、〇九〇	响		一、二三〇	石		
其他	計			一〇五、五一〇	响		二一、八七五	石		
總計							一九五、四八四	石		

(康德元年度現在)

三三八

梨樹縣 (實業部調)

種	目	作	付	面	積	收	穫	高	備	考
大豆	他			七、六五一	响		一七〇、九五七	石		
高粱	他			六、四八八	响		九、一五六	石		
玉米	他			一一、八二〇	响		二六九、〇九六	石		
小麦	他			六五、四五八	响		一一四、一七二	石		
水稻	他			五、六八八	响		一一、七四三	石		
其他	計			五五三	响		三九〇	石		
雜穀	計			五、二一九	响		二六二	石		
其他	計			一三、〇五八	响		二九、〇三九	石		
總計				二九六、〇一〇	响		六一六、一四五	石		

(康德元年度現在)

昌圖縣 (實業部調)

種	目	作	付	面	積	收	穫	高	備	考
大豆	他			九四、三一四	响		二〇一、一四四	石		
高粱	他			一一、九〇六	响		二七、五八二	石		
玉米	他			一〇〇、四一三	响		三四六、九九七	石		
小麦	他			八二、七九三	响		一九三、一五七	石		
水稻	他			一、七七一	响		五、五〇〇	石		
其他	計			四、八八七	响		六、八四九	石		
雜穀	計			二六	响		一〇、四二七	石		
其他	計			三、五六三	响		四三、〇六三	石		
總計				三三三、八五三	响		八三四、七八五	石		

(康德元年度現在)

特用作物

龍鎮縣 (實業部調)

種	目	作	付	面	積	收	穫	高	備	考
蔬菜	計			四〇〇	响		四、四〇〇	斤		
其他	計			四〇〇	响		四、四〇〇	斤		

(康德元年度現在)

克山縣 (實業部調)

種	目	作	付	面	積	收	穫	高	備	考
煙草	計			二五四	响		一三六、三八五	斤		

(康德元年度現在)

種	青線	小	蔬	蘇	其
目	麻	子	子	子	他
面積	八八四	一三三	四、四九七	六、五九三	一、四九一
收穫	三、七二七	二、八五六	九四〇	三、七二七	一、四二六
備考					

訥河縣 (實業部調)

(康德元年度現在)

種	青線	芝	瓜	蘇	計
目	草	麻	子	子	子
面積	二、三五五	二、〇三一	二、〇三一	二、〇三一	四、五三一
收穫	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	八、四四八
備考					

龍江縣 (實業部調)

(康德元年度現在)

種	青線	芝	蘇	計
目	草	麻	子	子
面積	一、五七〇	一、六五〇	一、四〇〇	一、二八〇
收穫	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
備考				

種	蘇
目	子
面積	二二石
備考	

奉來縣 (實業部調)

(康德元年度現在)

種	小
目	子
面積	三五〇
備考	

鎮東縣 (實業部調)

(康德元年度現在)

種	煙	小	芝	瓜	蔬
目	草	子	子	子	子
面積	八三	二二〇	六〇	五〇〇	二、〇九三
收穫	一〇六、〇〇〇斤	三〇〇、〇〇〇斤	八〇石	三五〇石	三、〇九一、二五〇斤
備考					

洮安縣 (實業部調)

(康德元年度現在)

種	煙
目	草
面積	六〇〇
收穫	三〇〇、〇〇〇斤
備考	

納河縣 (實業部調)		龍江縣 (實業部調)	
種	別	種	別
馬	頭	馬	頭
騾	頭	騾	頭
驢	頭	驢	頭
羊	頭	羊	頭
豚	頭	豚	頭
家計	數	家計	數
總計	量	總計	量
一、四九四	三、三一六頭	七、六六五	六、四八九頭
一、一八	二〇、七三二	二二、九九五	九、五六五
三六〇	九〇二	五〇、一一一	二五九
一、九六六	五五四	四九、九五五羽	三、一三八
五、三六七	一、五三二		
二五、三五七	一九、五二四		
	四六、五六〇		
	一〇、九二五羽		

(康德元年度現在)

泰來縣 (實業部調)	
種	別
馬	頭
騾	頭
驢	頭
羊	頭
豚	頭
家計	數
總計	量
一三、四七六頭	
七、一一三	
二、一二四	
四二〇	
五、五二〇	
二〇、一五六	
四八、八一九	
三五、五六九羽	

(康德元年度現在)

鎮東縣 (實業部調)	
種	別
馬	頭
騾	頭
驢	頭
羊	頭
豚	頭
家計	數
總計	量
一、九三五頭	
八、七〇一	
七六六	
九六三	
二、六二〇	
九、五五六	

(康德元年度現在)

家計	禽	類	二四、五四一 一九、八四一羽
----	---	---	-------------------

洮安縣 (實業部調) (康德元年度現在)

牛	一、四二五頭
馬	六、二二二
騾	二、〇八八
驢	三、四五六
羊	六九六
豚	一四、二四四
家計	二八、一二一
禽	二一、三六一羽

洮南縣 (實業部調) (康德元年度現在)

牛	七、〇六五頭
馬	七、二九〇
騾	一、六八四
驢	五、一三一
羊	三、六一五
豚	二二、一二四
家計	四六、九〇九
禽	四二、二八九羽

家計	禽	類	二四、五四一 一九、八四一羽
----	---	---	-------------------

洮安縣 (實業部調) (康德元年度現在)

牛	一、四二五頭
馬	六、二二二
騾	二、〇八八
驢	三、四五六
羊	六九六
豚	一四、二四四
家計	二八、一二一
禽	二一、三六一羽

洮南縣 (實業部調) (康德元年度現在)

牛	七、〇六五頭
馬	七、二九〇
騾	一、六八四
驢	五、一三一
羊	三、六一五
豚	二二、一二四
家計	四六、九〇九
禽	四二、二八九羽

開通縣 (實業部調) (康德元年度現在)

牛	二、二九三頭
馬	六、四九七
騾	七〇一
驢	二、八九六
羊	一、八四三
豚	三、九一八
家計	一八、一四八
禽	三、八九一羽

遼源縣 (實業部調) (康德元年度現在)

牛	一、一二七頭
馬	三、九五四
騾	一、八九九
驢	二、一九九
羊	三九一
豚	一一、三四六
家計	二一、九一六
禽	一七、一八三羽

梨樹縣 (實業部調) (康德元年度現在)

種別		數	量
牛	馬	一、一七六頭	
	騾	一七、三〇八	
羊	驢	一四、九四二	
	豚	四、三六四	
家計	禽	八八二	
	類	六七、六九七	
		一〇六、三六九	
		六五、五五九羽	

種別		數	量
牛	馬	二、九九七頭	
	騾	三二、一五九	
羊	驢	三三、八七五	
	豚	一一、三四三	
家計	禽	五二二	
	類	一一三、一五九	
		二〇四、〇五五	
		三〇四、〇三三羽	

昌圖縣 (實業部調)

(康徳元年度現在)

畜産業

當沿線各縣に於ける畜産は概ね農家の兼營する處にして江省、奉省共牧場を經營するもの殆ど皆無なり。乍然興安省方面に於ては土地肥沃ならざる平原多きを以て此の地方に水草を追ふて移動する遊牧民多く、畜産に富むも洮索沿線地方に於て未だ其の數極めて少なく且見る可きものなし。

當地方に於ける主要家畜及家禽。

- 馬** 全部蒙古種にて短驅にして高さ一・三米以下。體量二百六十斤見當のもの多し。
- 騾** 騾の雜種にて形體馬に似高さ一・四米、體量三百斤にして耕作、輓車等に使役せられ粗食に甘じ牽引が大なる特長を有す。
- 驢** 大、小二種ありて高さ一・四—一・五米體量二二〇—三〇〇斤にして蹄強く勇敢なり且粗食に甘じ牽引力多く地方農事の用に使役せられ利便多し。
- 牛** 蒙古、滿洲、朝鮮牛等各種あるも其の内蒙古牛最も多數を占む體軀矮小にして一・三米體量三百斤見當。擠乳並耕作作用に使役す。
- 羊** 緬羊、山羊の二種あり農家の副業に飼養す。體高〇・六米以下を普通とし體量は三〇—三八斤見當。
- 豚** 回教徒數の滿洲民族は之を非常に愛用し従つて其の需要極めて多し。燒躑業は飼料の關係より多數之を飼養し少なきは二三十頭多きは數百頭に及ぶ地方あり。
- 家鴨、鶩、鷄** 鷄其の數最も多く鶩、家鴨之に次ぐ。鷄は一年一百餘卵を生む。家鴨は其の肉美味にして一年に二百内外の卵を生む。之等は其の飼養範圍極めて廣し。

一九三一及一九三二年站別輸送家畜及獸皮毛皮數量
第五章 農、畜、礦、水産

縣名	區分	鑛種	鑛區所在地	面積	溝長	探掘狀況	請願者	住所	備考
泰安	東	克	東	五	一〇八	一	楊來慶	呼蘭縣	請願者ノ保證人資産カ一萬圓ニ充タル爲不許可
郭家	克	山	五	一〇八	一〇八	一	周維泰	黑河達源廠	六箇月經過スレハ無效
古安	訥	河	五	一〇八	一〇八	一	楊來慶	呼蘭縣	請願者ノ保證人資産カ一萬圓ニ充タル爲不許可
太安	訥	河	五	一〇八	一〇八	一	楊來慶	呼蘭縣	請願者ノ保證人資産カ一萬圓ニ充タル爲不許可
新哈	訥	河	五	一〇八	一〇八	一	楊來慶	呼蘭縣	請願者ノ保證人資産カ一萬圓ニ充タル爲不許可
拉哈	訥	河	五	一〇八	一〇八	一	楊來慶	呼蘭縣	請願者ノ保證人資産カ一萬圓ニ充タル爲不許可
江寧	富	格	五	一〇八	一〇八	一	楊來慶	呼蘭縣	請願者ノ保證人資産カ一萬圓ニ充タル爲不許可
富海	富	格	五	一〇八	一〇八	一	楊來慶	呼蘭縣	請願者ノ保證人資産カ一萬圓ニ充タル爲不許可
寧年	富	格	五	一〇八	一〇八	一	楊來慶	呼蘭縣	請願者ノ保證人資産カ一萬圓ニ充タル爲不許可

第三節 鑛 產

金 鑛

縣別	區分	鑛種	鑛區所在地	面積	溝長	探掘狀況	請願者	住所	備考
龍江	縣	鑛	傳略	五	一〇八	一	楊來慶	呼蘭縣	請願者ノ保證人資産カ一萬圓ニ充タル爲不許可
龍江	縣	鑛	傳略	五	一〇八	一	楊來慶	呼蘭縣	請願者ノ保證人資産カ一萬圓ニ充タル爲不許可
龍江	縣	鑛	傳略	五	一〇八	一	楊來慶	呼蘭縣	請願者ノ保證人資産カ一萬圓ニ充タル爲不許可

備考
 一、太字ハ脈半數
 二、單位ハ延

石 炭

縣名	區別	鑛種	鑛區所在地	面積	探掘狀況	經營者	住所	納稅狀況	備考
克山	縣	石炭	政字二十八號 四十二號 開化淺屯朝陽山 東青山頭地方	五、一七五畝 二七〇畝 三方里	探掘	馬蓋鄉 徐張金馬 鵬泰德蓋 志誠誠鄉	哈爾濱道裡	二〇年ヨリ未納	張徐二氏ノ訴判決セリ

縣名	區分	鑛種	鑛區所在地	備考
訥河	縣	磁土	訥河縣、朝陽山 老河	訥河縣城北方八十支里、嫩江沿岸 七十支里、老河沿岸

縣名	區分	鑛種	鑛區所在地	備考
龍江	縣	花崗岩	與讓鄉 子山 朱家坎	住民之ニテ磨ヲ作ル 銘脈延長約五十里
訥河	縣	粘料	縣城東方三里崗子 縣城東北五十里青山頭	探掘中

第四節 水 產

當路沿線には嫩江流れ此處より淡水魚類の產出多く、殊に訥河、拉哈、江橋附近は其の產量極めて多く、これが販路は冬期結氷期に於ては南滿は勿論遠く天津に迄及ぶと云ふ。

第五章 農、畜、鑛、水產

齊北・平齊沿線經濟事情
 同前(同前)
 泰來縣概況(柏原孝久・濱田純一)
 泰屯縣事情(滿鐵調查課)
 泰來縣の植民可能地及植民の前途(滿鐵調查課)

鎮東縣

題名(筆者)
 鎮東縣下都邑事情(山田久太郎)
 鎮東(鐵路總局)
 縣政
 齊々哈爾濱南間經濟事情(滿鐵調查課)
 鎮東地方道路狀況
 南支干機(鎮東)概況(柏原孝久・濱田純一)

東三省古蹟遺聞續編
 蒙古地誌 下卷
 黑龍江省 上卷
 支那農民の北滿植民と其前途

書名
 滿蒙都邑全誌 上卷
 四平街齊々哈爾濱南間鐵路案内
 民政部旬刊
 齊々哈爾濱、洮南及伯都訥地方經濟事情
 經濟上より見たる滿蒙の道路
 蒙古地誌 下卷

洮安縣

題名(筆者)
 洮安縣事情(大同學院)
 縣下各種統計(奉天省公署)
 齊齊哈爾洮南間經濟事情(滿鐵調查課)
 洮安縣下都邑事情(山田久太郎)
 縣下古蹟(菊池貞二)
 白城子(鐵路總局)
 洮安鐵路沿線都邑案内(同前)
 白城子概況(柏原孝久・濱田純一)

書名
 滿洲國各縣視察報告
 奉天省各縣々況要覽
 齊齊哈爾洮南及伯都訥地方經濟事情
 滿蒙都邑全誌 上卷
 東三省古蹟遺聞續編
 四平街齊齊哈爾哈爾濱間鐵路案内
 同前
 蒙古地誌 下卷

發行年月	記載頁
昭二、八	二九一頁
大正八、一二	一〇〇二頁
大正二、三、五	五三頁
昭六、四、一〇	二〇六頁
發行年月	記載頁
大正一五、一〇	四三七頁
康元、四	五七頁
大同二、六、一〇	三五頁
大正一一、六	二二二頁
昭四、五	二二二頁
大正八、一二	九三九頁
發行年月	記載頁
大同二、一一	一〇二九頁
大同二、一〇	二二二頁
大正一一、八	二二二頁
大正一五、一〇	四三二頁
昭二、八	二二九頁
康元、四	七四頁
同	七一頁
大正八、一二	九三四頁

洮南縣

題名(筆者)
 洮南縣都邑事情(山田久太郎)
 縣下各種統計(奉天省公署)
 洮南の概況
 洮南概況(山根尊三)
 最近の洮南經濟事情(村田熊三)
 洮南地方の現狀(村田熊三)
 洮南白音太來視察旅行(松原梅吉)
 洮南肉牛市場(坪井清)
 洮南古蹟(菊池貞二)
 同(菊池貞二)
 洮南(鐵路總局)
 縣政概況
 縣政概況
 縣下買狀について(民政部)
 洮南地方最近經濟事情(外務省)
 洮南(哈爾濱商品陳列館)
 洮南に於ける自動車交通事業(滿鐵經濟調查會)
 洮南縣自動車營業者(交通評論社)
 洮南商業概況(柏原孝久・濱田純一)
 洮南概況(同前)
 洮南縣事情(大同學院)
 洮南事情(正金銀行)
 第五章 農、畜、礦、水産

書名
 滿蒙都邑全誌 上卷
 奉天省各縣縣況要覽
 滿蒙之文化
 亞東指要
 滿蒙之文化
 滿蒙
 東三省古蹟遺聞
 東三省古蹟遺聞續編
 四平街齊齊哈爾哈爾濱間鐵路案内
 民政部旬刊
 民政部半月刊
 第一回全國縣參事官會議議事錄
 海外經濟事情
 露滿蒙時報
 滿洲に於ける自動車交通事業
 朝鮮及滿洲陸運總覽
 蒙古地誌 中卷
 同前 下卷
 滿洲國地方事情
 齊克、四洮、洮昂鐵道沿線經濟事情

發行年月	記載頁
大正一五、一〇	三七一頁
大同二、一〇	二五九頁
大正九、九	五六九頁
大正一四、一一	六六頁
大正一〇、七	六七頁
大正一一、二	六七頁
大正一二、二	一七頁
昭三、三	一一三頁
大正、一四、八	二五二頁
昭二、八	二一三頁
康元、四	三三頁
大同二、一一、三〇	五七頁
康元、四、一五	四七頁
康元、六	二六頁
昭九、三、五	六六頁
昭九、九	九頁
昭九、九	三四頁
昭八、一一	四七五頁
昭八、一二	五七九頁
同	一一五七頁
康元、四	九三三頁
昭七、三	七五五頁
昭七、三	一〇七頁

開通縣

齊北・平齊沿線經濟事情

三六二

題名(筆者)

- 開通縣事情
- 開通
- 縣政
- 縣下各種統計
- 開通に於ける自動車交通事業(内海治一)
- 開通縣都邑事情(山田久太郎)
- 縣下古蹟(菊池貞二)
- 七井子(開通)概況(柏原孝久、濱田純一)

書名

- 滿洲國地方事情概説篇
- 四平街、齊齊哈爾、哈爾濱間鐵路案内
- 民政部半月刊日譯
- 奉天省各縣縣況要覽
- 滿洲に於ける自動車交通事業について
- 滿蒙都邑全誌 上卷
- 東三省古蹟遺聞續編
- 蒙古地誌 下卷

發行年月

- 康元、四
- 康元、四
- 康元、四、一五
- 大同二、一〇
- 昭九、九
- 大正二五、一〇
- 昭二、八
- 大正八、一二

記載頁

- 三八七頁
- 二九頁
- 二二頁
- 四七〇頁
- 四二五頁
- 二二七頁
- 九一九頁

遼源縣

題名(筆者)

- 遼源縣に於ける地價及農具價格及農耕用役畜價格
- 鄭家屯事情(鐵路總局)
- 縣政事情
- 遼源縣事情(大同學院)
- 縣下各種統計(奉天省公署)
- 鄭家屯附近事情(滿鐵鄭家屯事務所)
- 鄭家屯事情(積濟正金銀行)
- 鄭家屯事情
- 鄭家屯事情(日本外事協會)
- 遼源縣農耕地地價變動
- 鄭家屯の天然曹達產出狀況
- 鄭家屯の陶器製需給狀況

書名

- 滿鐵調查月報
- 四平街齊齊哈爾、哈爾濱間鐵路案内
- 軍政部旬刊
- 滿洲國各縣縣況報告
- 奉天省各縣縣況要覽
- 農業上より見たる鄭家屯附近事情
- 齊克四洮洮昂鐵道沿線經濟事情
- 露滿蒙時報
- 滿洲帝國總覽
- 滿鐵調查月報
- 海外經濟事情
- 海外經濟事情

發行年月

- 昭八、七
- 康元、四
- 大同二、一一、二〇
- 大同二、一一
- 昭八、一一
- 昭七、一二
- 昭九、九
- 昭九、六
- 昭九、五
- 昭九、五、七
- 昭九、七、二

記載頁

- 一四四頁
- 一五頁
- 四六頁
- 一〇〇九頁
- 一四三頁
- 九五頁
- 三五頁
- 五七二頁
- 二〇四頁
- 六頁
- 十頁

梨樹縣

題名(筆者)

- 梨樹縣事情(大同學院)
- 政況
- 縣下の治外法權について(民政部)
- 縣下古蹟(菊池貞二)
- 縣下主要都市事情(山田久太郎)
- 買賣街概況(柏原孝久、濱田純一)
- 四平街事情(積濟正金銀行)
- 四平街事情(外務省)
- 四平街油房の過去と現在
- 四平街附近の自然(野田光藏)
- 四平街驛(山根傳三)
- 四平街背後地事情
- 第五章 農、畜、礦、水産

書名

- 滿蒙都邑全誌 上卷
- 滿蒙之文化
- 經濟上より見たる滿蒙の道路
- 經濟上より見たる滿蒙の道路
- 亞東指要
- 齊齊哈爾洮南及伯都訥地方經濟事情
- 蒙古地誌 中卷
- 蒙古地誌 下卷
- 滿鐵調查月報
- 滿洲國各縣縣況報告
- 民政部半月刊日譯
- 第一回全國縣參事官會議錄
- 東三省古蹟遺聞
- 滿蒙都邑全誌上卷
- 蒙古地誌 下卷
- 齊克四洮洮昂鐵道沿線經濟事情
- 長春事情
- 滿鐵調查月報
- 同表題
- 亞東指要
- 滿鐵調查月報

發行年月

- 大正一五、一〇
- 大正九、九
- 大正九、一一
- 昭四、五
- 同
- 大正一四、一一
- 大正一一、六
- 大正八、一二
- 大正八、一二
- 昭八、八
- 大同二、一一
- 康元、四、一五
- 康元、六
- 大正一四、八
- 大正一五、一〇
- 大正八、一二
- 昭七、一二
- 昭四、七
- 昭七、一二
- 昭八、九
- 大正一四、一一
- 昭八、一

記載頁

- 三六二頁
- 一七頁
- 六七頁
- 二〇一頁
- 六四五頁
- 五六七頁
- 一一五七頁
- 九〇六頁
- 二四〇頁
- 九六七頁
- 二六頁
- 五四頁
- 二六三頁
- 二九八頁
- 八九五頁
- 五七頁
- 九三頁
- 一七八頁
- 一一九頁
- 五五二頁
- 三七〇頁

三六三

昌圖縣

題名(筆者)

- 縣政
- 昌圖縣都市事情(山田久太郎)
- 昌圖縣古蹟(菊池貞二)
- 昌圖縣(山根倅三)
- 昌圖縣に於ける自動車營業者一覽(交通評論社)
- 昌圖概況(柏原孝久)
- 昌圖概況(濱田純一)
- 八面城事情(同前)
- 金家屯事情(同前)
- 通江口事情(同前)
- 昌圖縣の朝鮮人概況(外務省)
- 昌圖附近の地質梗概(野田光雄)

書名

- 民政部半月刊日譯
- 滿蒙都邑全誌上卷
- 東三省古蹟遺聞
- 亞東指要
- 朝鮮及滿洲陸運總覽
- 蒙古地誌 下卷
- 同前
- 同前
- 同前
- 在滿朝鮮人概況
- 滿蒙

發行年月

- 康元、四一五
- 大正一五、一〇
- 大正一四、八
- 大正一四、一一
- 昭八、一一
- 大正八、一二
- 同
- 同
- 同
- 昭八
- 昭五、三

紙數頁

- 二九頁
- 三七八頁
- 二五九頁
- 五五一頁
- 五九六頁
- 八九〇頁
- 九四八頁
- 九五八頁
- 九五二頁
- 三七頁
- 八九頁

昭和十年五月二十日印刷
昭和十年五月二十五日發行

編輯兼
發行人 奉天富士町鐵路總局
佐藤晴雄

印刷人 奉天秋町三十一番地
小山慶治

印刷所 奉天秋町三十一番地
滿洲共同印刷株式會社

發行所 奉天富士町
鐵路總局

CL

NO. 12128



